

2013 年 6 月 SG1 ブロック会合報告書（案）

資料 5-1-1 2013 年 6 月 ITU-R WP1A 会合報告書（案）

資料 5-1-2 2013 年 6 月 ITU-R WP1B 会合報告書（案）

資料 5-1-3 2013 年 6 月 ITU-R WP1C 会合報告書（案）

資料 5-1-4 2013 年 6 月 ITU-R SG1 会合報告書（案）

2013年6月 ITU-R WP1A 会合報告書（案）

- 【会合名称】 ITU-R WP1A 会合
 （スペクトラム技術に関する作業部会）
- 【会期】 2013年6月4日（火）～6月11日（火）
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概要】

本会合は、今研究期間における第2回会合である。33ヶ国の主管庁と2のROA (Recognized Operating Agencies)、7のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、4の地域または国際機関事務局より計105名が参加した。日本からは、菅田氏、遠藤氏（総務省）、小林氏（総務省参与）、小川氏（電波産業会）、橋本氏、上土井氏（JAXA）、石田氏（アルコムジャパン）、森氏（ワシントンコア）の8名が参加した。

日本、韓国、中国、米国、ドイツなどからの寄与文書及び前回の議長報告と他グループからのリエゾン文書を含め合計63件の入力文書が審議され、33件の出力文書が作成された。

会議では、3つのWorking Group (WG)等が設置され、各議題について審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

表-1 WP1Aの会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1A 議長：Mr. R. Garcia De Souza（ブラジル）
Working Group 1A-1 議長：Mr. R. Liebler（ドイツ） 担当：無線通信システムと有線電気通信の共存、 電力線搬送通信（PLT）システムとその関連事項
Working Group 1A-2 議長：Mr. R. Garcia De Souza（ブラジル） 担当：ワイヤレス給電システム（WPT）、無線通信業務の保護及び不要放射
Working Group 1A-3 議長：Ms. B. Sykes（米国） 担当：CATハンドブックとその他の課題

1. Working Group 1A-1 : 無線通信システムと有線電気通信の共存、電力線搬送通信 (PLT) システムとその関連事項 (議長:Mr. R. Liebler (ドイツ))

1.1. 電力線搬送通信 (PLT) システム

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) Annex 1, 1A/39 (Rev.1) Annex 2, 74R1 (ドイツ), 91 (韓国)
出力文書 : 1A/TEMP/27R1, 1A/TEMP/29, 1A/TEMP/30, 1A/TEMP/32

(1) 主要結果

勧告 SM.1879-1 の改定、レポート SM.2158 の改訂、新レポート SM.[PLT RAD-PSD]が承認され、採択または承認のために SG1 に送付された。

(2) 審議概要

1) 勧告 SM.1879-1 の改訂

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) Annex 1

出力文書 : 1A/TEMP/27R1

議長からこれまで他の WP からコメントがなかったために、WP1A プレナリに送付することが提案された。中間プレナリでは、表の保護基準に関して合意が得られなかったために差し戻しになったが、保護基準を規定するポイントを明確化するために、特に断りのない限り受信アンテナ端における保護基準の値であることが保護基準のタイトルに追記された。

BS./BT.1895 では周波数が明確に規定されていないので、イスラエルから(for Application of the above value see Recommendation ITU-R BS./BT.1895)の削除が提案されたが、EBU からは 30MHz 以上の場合には Mitigation techniques 等の検討もなされており、かつ 1%の数値は BS./BT.1895 から参照されているので削除には反対であり、明確にするために 30MHz 以下では 0.5dB 以下、30MHz 以上では 1%と記載してはどうかとの提案があった。これを受けて、勧告 BS./BT.1895 を残し、かつ 30MHz 以下の表現との相関性を持たせるために 0.05dB に相当するとの表現も追記された。80MHz 以上の場合の表 2 も同一の表現とした。以上の修正を行い、WP1A プレナリで承認された。

2) レポート SM.2158 の改訂

入力文書 : 1A/74R1 (ドイツ)

出力文書 : 1A/TEMP/29, 1A/TEMP/32

ドイツからレポート SM.2158 に人口雑音測定結果を反映することの提案があったが、ERO の提案で SG3 へのリエゾン文書を作成することになった。また、この文書を Annex として追加したレポート変更案をドイツが準備し、特段の議論はなく WP1A プレナリに提出され承認された。なお、文中の white Gaussian noise (WGN)は man-made noise に変更された。

3) 新レポート案 SM.[PLT RAD-PSD]

入力文書 : 1A/91 (韓国)

出力文書 : 1A/TEMP/30

韓国からの改定案については、韓国の Lee 氏が coordinator となって改定草案を準備したが、検討の結果、議長の提案によって DNR として WP1A に提出して承認された。

1.2. Smart Grid Power Management Systems

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) Annex3, 52 (ITU-T JCA-SG&HN), 92 (IEEE), 94 (EBU)
出力文書 : 1A/TEMP/36

(1) 主要結果

新レポート SM.[SMART_GRID]案が作成され、議長報告に添付された。

(2) 審議概要

1) レポート SM.[SMART_GRID]草案に向けた作業文書

入力文書：1A/39 (Rev.1) Annex3, 52 (ITU-T JCA-SG&HN), 92 (IEEE), 94 (EBU)

出力文書：1A/TEMP/36

IEEEからの入力に対して、EBUからIEEEが追加したどの周波数がAMR/AMIに使われているか、BBCから1581MHzに変更した理由等が質問されたが、明確には回答されず、今後これら周波数リストに対する地域、国名等を明確することになった。なお、この周波数リストの内容について各WPに問い合わせることも必要であるとの意見もあった。さらに、本文中にIEEEの規格がそのまま掲載されているが、これらはreferenceとするか、あるいはAnnexとして追加するかの議論があり、最終的にはAnnexとして追加されることになった。さらに6.2節のfirst mileの意味がshort distanceとして理解できないようなIEEE802.22の例が入っているとの指摘もEBUからあった。以上により、IEEEからの文書を追加した作業文書をIEEEが中心となって作成することになった。

EBUのSami氏がEBUからの入力も考慮して、IEEEの寄書内容も含めて再編集したテキストを審議した。具体的には、表1の各周波数帯に対しては、使用している地域と地域における使用状況とAMR/AMIに対するコメント欄を追加し、さらにFirst mileの節で紹介しているシステム例を全てAnnexとした。イスラエルからは表1の内容は勧告に対応すべきであり、さらに使用状況が変わる可能性もあるので削除の提案があったが（ここでSRDの議論もあったが、SRDではなくAMR/AMIに関する表であることが理解されてSRDの議論は終結）、EBUからはGE06も踏まえた周波数の使用状況を整理しており、さらにAMR/AMIの状況も追加しているので、共存等の検討にも利用できるようにした旨の追加説明があった。BBCからも追加された内容の有用性等についてのサポート発言があった。IEEEからは、IEEEで今後使用が想定される周波数も含めてまとめているものであることと、追加欄のコメントをまとめた寄書を今後入力するとの発言もあった。今後はこの表をベースに寄書によりアップデートしていくこととし、議長報告にこれまでの議論を記載することになった。

1.3. ビル内、家庭内での使用に適した有線及び無線システム

入力文書：1A/39 (Rev.1) Annex 5, 1A/61R1 (WPs 5A, 5B & 5C), 1A/67+a1 (ITU-T SG 5), 1A/71 (ITU-T SG 9), 1A/75 (WP 6A), 1A/76 (WP 6A), 1A/82 (Rapporteur), 1A/95 (EBU), 1A/97 (WPs 5A, 5B & 5C), 1A/98 (WPs 5A, 5B & 5C), 1A/99 (WPs 5A, 5B & 5C)

出力文書：1A/TEMP/41, 1A/TEMP/42, 1A/TEMP/43, 1A/TEMP/45

(1) 主要結果

ITU-T SG5 への勧告 K.60 と K.mhn についてのリエゾン文書、ITU-T SG9 への勧告 J.195 についてのリエゾン文書、ITU-T SG15 への勧告 G.fast についてのリエゾン文書、ITU-R 関連 WP へのリエゾン文書の4件が作成され、送付された。

(2) 審議概要

1) ビル内、家庭内での使用に適した有線及び無線システム

入力文書：1A/39 (Rev.1) Annex 5, 1A/61R1 (WPs 5A, 5B & 5C), 1A/67+a1 (ITU-T SG 5), 1A/71 (ITU-T SG 9), 1A/75 (WP 6A), 1A/76 (WP 6A), 1A/82 (Rapporteur), 1A/95 (EBU), 1A/97 (WPs 5A, 5B & 5C), 1A/98 (WPs 5A, 5B & 5C), 1A/99 (WPs 5A, 5B & 5C)

出力文書：1A/TEMP/41, 1A/TEMP/42, 1A/TEMP/43, 1A/TEMP/45

議長から、多数の入力文書の紹介後に、ITU-T SG5, SG9, SG15 と関連 ITU-R WP へリエゾン文書を送付することが提案され、ITU-T SG5 (勧告 K.60, K.mhn) へのリエゾン文書はコメントを入力した EBU の Sami 氏が、ITU-T SG9 (勧告 J.195), SG15 (勧告 G.fast) と ITU-R 関連 WP へのリエゾン文書

はWP5A, 5B, 5C, 6Aからのリエゾン文書に関係したBBCのShaw氏が準備することになった。Sami氏が準備したリエゾン文書に対しては、議長が追加した further cooperation(ラポーターグループに関する情報)の内容を確認して承認された。

勧告 G.fast と勧告 J.195 に対するコメントをまとめたリエゾン文書案に対して、テキストの内容ではなく Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems が多くの WP に関連しているために、このリエゾン文書の出し方に審議が集中した。また、4 項目の質問が提案されているが、質問の範囲を広げる点についての指摘もあったが、具体的な質問事項までには議論されなかった。さらに、本リエゾンにラポーターグループ(RG)の活動内容をどのように関連させるかの点も議論された。RG に関連する ITU-R WP と ITU-T SG からコンタクトパーソンを指名してもらうこと、あるいは Inter-sector RG の設置の可能性等も話題に上がった。

G.fast と J.195 に関する ITU-T SG15 へのリエゾン文書をさらに改定し、情報として送付する ITU-R の関連 WP の追加を行った。一か所の訂正(visible を within line of sight に変更)とコンタクト先の追加(カウンセラー)を行って承認された。

ITU-R 内での有無線通信システムの共存に関する今後の協調のために、ITU-R 関連 WP へのリエゾン文書(上記 3 件の各 ITU-T SG へのリエゾン文書は Annex としてこのリエゾン文書に添付されている)が BBC の Shaw 氏によって準備され、特段の議論なく承認された。今後関連 WP 間の情報交換のために各 WP にはコンタクトポイントの指名が要請されている。

1.4. ラポーターグループのToR改訂

入力文書：1A/39 (Rev.1) Annex 5

出力文書：1A/TEMP/44

(1) 主要結果

ToR が改定され、BBC の John Shaw 氏がラポーターに指名された。

(2) 審議概要

1) ラポーターグループの ToR 改定

入力文書：1A/39 (Rev.1) Annex 5

出力文書：1A/TEMP/44

主な改定内容は、すでに終了した勧告 SM.1879-1 に関する審議事項の削除と ITU-T SG5, SG9, SG15 との情報交換を行うフォーラムを提供することの追加等があり、特段の変更なく合意された。

2. Working Group 1A-2 : ワイヤレス給電システム (WPT)、無線通信業務の保護及び不要放射 (議長 : Mr. R. Garcia De Souza (ブラジル))

2.1. ワイヤレス給電システム(WPT)

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) (Annex 10), 72(APT), 80(USA), 85(Rev.1)(JPN), 86(JPN), 90(KOR), 93(CHI), 102 (SG 1 議長報告), CJK TR1 (Information paper in the Shareholder)

出力文書 : 1A/TEMP/46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53

(1) 主要結果

- ① 2014 年を目標とした今後の作業方針を策定するとともに、次回会合まで議論を深めるため、レスポンスグループ (CG、議長 : 米国) を設置した。
- ② CG では以下の (i) (ii) を検討し作成することが合意された : (i) 勧告草案作業文書 (米韓提案によるモバイルデバイス用 WPT 対象の勧告草案作成提案文書に日本が EV と家電を追加し、暫定合意したもの)。 (ii) 報告書草案作業文書 (日本提案。WD PDNR SM.[WPT.NON-BEAM] と WD PDNR SM.[WPT.BEAM]から構成。)
- ③ CG は 2014 年の WP 1A 会合の 1 ヶ月前までにその作業進捗を報告することが合意された。
- ④ 上述の CG の設置と検討項目 ((i)(ii)) については各国からその立場や懸念が表明された。米国及び韓国が、モバイルデバイス用 WPT の周波数を特定する勧告草案の骨格を提案したが、周波数特定の議論は時期尚早とするカナダ、英国が反発。カナダ、英国は、周波数特定のための勧告草案はレポート草案の後に作成すべきであり、ISM 帯以外の低い周波数帯では特に慎重な共用検討が必要との意見を示した。日本は今会合で勧告草案の骨格を議論するのであれば、EV、家電用 WPT も対象に含めるべきであるという意見を述べた。
- ⑤ CISPR、IEC、APT 等との連携強化等を図るリエゾン文書を発出するとともに、WPT に関連する多くの外部団体に対し、WP 1A の WPT 取り組みの紹介と今後の協力を呼びかけるリエゾン文書の発出が合意された。

(2) 審議概要

1) CG-WPT の設立、ToR 策定、作業出力文書作成のフレームワークの議論

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) (Annex 10), 72, 80, 85(Rev.1), 86, 90, 93, 102 (SG 1 議長報告)

出力文書 : 1A/TEMP/ 48, 49, 50, 52, 53

- ① WPT Q.210-3/1 関連でレポートおよび勧告作成のため新たに Drafting Group (DG) を設置することが合意された。Reza Arefi 氏 (USA, Intel) が立候補し、議長を務めることになった。
- ② DG では、重要な課題として WPT 利用に関する規則手続きと周波数割当てについて扱うことになった。DG は、「WIRELESS POWER TRANSMISSION UNDER Question ITU-R 210-3/1」と記述し、包括的に WPT を捉えることが合意された。
- ③ 今会合での提案を基に以下の 3 つの文書作成の方向で進めることが合意された :
 - (i) PDNRecommendation ITU-R SM.[WPT]: 勧告案作業文書 (米韓提案 (#89、#90) を基に作成) ITU-R SM.[WPT]
 - (ii) PDNReport ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]: NON-BEAM 報告書草案作業文書 (日本提案 (#85) を基に作成)
 - (iii) PDNReport ITU-R SM.[WPT.BEAM]: BEAM 報告書草案作業文書 (日本提案 (#85) を基に作成)。
- ④ 上述 (i) (ii) (iii) の作業のために、CG を設立することが合意された。Reza Arefi 氏 (USA, Intel) が韓国から推薦され、議長を務めることになった。

- ⑤ 議長から二つの CG 設置の必要性が問われ、カナダから二つの CG の関係が不明瞭で活動しにくくなるため、CG はひとつにすべきとのコメントがあった。韓国がカナダのコメントを支持した。
- ⑥ CG の ToR が韓国提案 (#90) を基に作成された。CG の ToR には、DG で合意された以下の 3 項目が記されている： (a) 2013 年 6 月の WP1A 会合入力文書と Question ITU-R 210-3/1 に関連する他の文書（標準化団体の文書なども）を詳細に検討。(b) 上述 (i) (ii) の文書策定。(c) 2014 年 WP1A 会合の 1 ヶ月前までに作業進捗を WP1A に報告。WP1A-2 において、CG の email reflector の必要性が出され、カウンセラーに依頼することになった。ToR は承認された。
- ⑦ 上述の(i)は、作業範囲に Mobile Device だけでなく、日本からの提案で EV、家電を含む包括的な表現とし、暫定合意に達したが、期間中、関連議論は繰り返された。韓国から 2014 年までに勧告案完成の時間軸では作業範囲の拡大は厳しいとの懸念が示された。日本から、モバイル・ポータブルがまず進むのは自然であり、すべてのものを同時に勧告化することは楽観視しておらず、共存検討をはじめ多くの課題があることを認識していると意見が出された。カナダは、作業範囲を広げてこの勧告案作成作業の議論を進めることは全体的に建設的でなく、時期尚早であり、賛同できず、最初の提案に戻るべきであることと、主管庁の規則機関にとって有用なものを作る作業の必要性を強く説いた。日本は、共存検討が第一であり、もしモバイル以外のものが含まれないのであれば、その場合はカナダ意見と同じ考えに立ち、最初の提案に戻り、まずレポートを作成し、次に勧告作成作業を行うべきという意見を出した。
- ⑧ 上述(ii)(iii)は、日本提案(#85)を基に、各々WD PDNR SM.[WPT.NON-BEAM] と WD PDNR SM.[WPT.BEAM]として最初の報告書草案作業文書構成案(#85Rev1)が示され、合意された。報告書草案の構成案(#85Rev1)への入力に関し、中国から高出力 WPT 向けに 18k-40kHz が検討されているので記述の要望が出された。また、韓国からも EV 向けの周波数(20k, 60kHz)割り当ての入力の要請があった。日本から 20k, 60kHz について「allocation」か「assignment」かとの質問があり、後者との回答があった。
- ⑨ 上述(i) (ii) (iii)は WP1A 議長レポートに添付文書として提出するという事で WP1A に送られた。
- ⑩ 共存検討について各国から多くの意見が出された。カナダから、米韓の勧告案作業提案(#80、#90)に示されている ISM バンドや他の帯域について、WPT に適切な周波数帯を定義するために、具体的に絞っていく作業が必要で周波数割り当て・共存の検討が必要との意見が出された。カナダは日本のアプローチ（報告書を作成し、次に勧告を作成）を支持した。また多くの国が既存システムとの共存も課題として挙げた。UK から、効率やエネルギー消費など多くの懸念があり、課題として検討していく必要性が出された。これらは CG の中で取り上げられることになった。

2) WPT 活動に関するリエゾンの発出

入力文書：1A/39 (Rev.1) (Annex 10), 72(APT), 102 (SG 1 議長報告)

出力文書：1A/TEMP/46, 47, 51, 52

- ① 日本から、CISPR からのリエゾン(#102)にはモバイルや EV に対する現状の活動状況や考えが示されており有益であり、これ対して返信を作成し送付すべきとの提案が出された。議長の支持により、日本が返信のリエゾン案を作成し、その案を基に合意された。
- ② WP1A からのリエゾンには CISPR からのリエゾン内容（含まれていた IEC TC69, TC100 等の情報を示して）を WP1A で取り上げたこと、CG の設立、IEC 内の他の TC 等へのリエゾンの転送及び CISPR への更なるタイムリーな情報提供の依頼が含まれている。依頼内容には、適切な周波数に関する情報、技術的特性、WPT からの干渉保護が含まれる。
- ③ 日本から、6/17 より Munich で行われる IEC PT 61980 に間に合うように早期の発出希望が出

された。議長はできるだけ早くできるように SG1 プレナリで検討するように依頼すると述べた。

- ④ APT への返信のリエゾン案が韓国のドラフトを基に合意された。
- ⑤ APT へのリエゾン文書案に関し、CISPR へのリエゾン文書案が具体的内容となっているが、APT 向けはあまり多くを書かないことになったものの、最後の文章にて、WP1A CG での作業文書のレビューおよび今後の WP1A CG へのタイムリーな寄与をお願いすることになった。
- ⑥ 外部団体へのリエゾン文書案に関し、カナダ他より、リエゾンを受領している CISPR だけでなく標準化団体として IEEE, 3GPP, ARIB, TTA, 他を考慮すべきという考えがだされた。外部団体へのリエゾン文書案について、その必要性の確認があった。DG 議長が CG の活動を外部団体に伝えるとともに、WP1A 活動 CG への寄与を依頼するためとの回答があった。また、日本から、著作権が絡む場合を考慮する必要があると、SG 議長を含めたほうがよいとの意見が述べられた。議長は念のため確認することになった。
- ⑦ 外部団体へのリエゾン文書案において情報入力を依頼するにあたり、“Information about the technical radio frequency characteristics of WPT devices/systems that are needed for performing sharing studies” など具体化が行われた。
- ⑧ すべてのリエゾン文書案の発出は WP1A-2 にて承認され、WP1A プレナリーへ送られた。

2.2. 無線通信業務の保護 (Rec. ITU-R M.1076 (Wireless communication systems for persons with impaired hearing))

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) (Annex 8), 59 (WP 5B), 60 (WP 5A), 66 (ITU-T JCA-AHF), 77 (ITU-T JCA-AHF), 79 (WP 5B), 100 (WP 5A)

出力文書 : なし

(1) 主要結果

- ① 議長よりすべての入力文書が紹介され、本件は WP1B がリードするため、WP 1A では単に入力として記録(note)された。

2.3. Rec. ITU-R SM.2028

入力文書 : 53 (WP 6A)

出力文書 : なし

(1) 主要結果

- ① 入力#53 WP 6A からのリエゾンにつき、「COMMENT ON RECOMMENDATION ITU-R SM.2028」(Protection distance calculation between inductive systems and radiocommunication services using frequencies below 30 MHz) が議長から紹介された。イスラエルが、BS/BT.1895 では KTBF より 20dB 低い値を求めている(筆者注:これはイスラエルの誤認識)が、30MHz 以下では人工雑音が主要になることを示して、WP6A へのリエゾンを(SM.2028 の内容をまとめた)韓国が書くことを提案した。韓国は技術的詳細に踏み込むことはできないとしながらも、リエゾンを書くことに同意した。

2.4. 不要放射

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) (Annex 7), 87, 88

出力文書：1A/TEMP/35

(1) 主要結果

- ① 1A/39 (Rev.1) (Annex 7) / WP6A (CONTINUING STUDIES TOWARDS IMPROVED OUT-OF-BAND ROLL OFF FOR RADARS TO ENHANCE SPECTRUM EFFICIENCY)に関する PDNR 作業文書)に関し、英国とイスラエルから WP5B へ検討の対象とすべき Radar のタイプに関するリエゾンを出すことも提案された。英国からも WP5B からのコメントが返ってきてから行うべきとのコメントがあった。結局、WP5B からのコメントが返ってくるまで CG を一時中止することが合意された。
- ② 独から入力#87、#88 によりスプリアス領域における不要輻射の新課題の提案があったが、#88 は議論なく議長報告に添付されることとなった。また、#87 は米国から修正提案がなされ、それが反映された文書が議長報告に添付されることとなった。

(2) 審議概要

1) 1A/39 (Rev.1) (Annex 7) の作業継続について

入力文書：1A/39 (Rev.1) (Annex 7) / WP6A

出力文書：

- ① 議長から、1A/39 (Rev.1) (Annex 7) / WP6A 「Annex 7 to Working Party 1A Chairman's Report WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ON CONTINUING STUDIES TOWARDS IMPROVED OUT-OF-BAND ROLL OFF FOR RADARS TO ENHANCE SPECTRUM EFFICIENCY」(日本) の紹介があった。この文書は、入力を促し議論を継続する内容である。
- ② 米国から、この文書の検討を中止すべき、もし続けるなら WP6A にリエゾンを出すべき、とのコメントが出された。一方、日本から、今会合では担当者が出られないために、審議を次回に延期してほしいとのコメントが出された。イスラエルから、5B(Marin Radar)にリエゾンを返せば、次回会合(2014/06)に回答が返ってくる、との意見が出され、日本に賛同する意見が出された。英国とイスラエルから WP5B へ検討の対象とすべき Radar のタイプに関するリエゾンを出すことも提案された。英国からも WP5B からのコメントが返ってきてから行うべきとのコメントがあった。結局、WP5B からのコメントが返ってくるまで CG を一時中止することが合意された。
- ③ WP5B へのリエゾンステートメント：米国がリエゾンを書くことを提案し合意された。米国から説明がなされ、イスラエル、日本からのコメントを基に修正が行われ、WP1A プレナリーで提示されることとなった。

2.5. Rec. ITU-R SM.1541-4, Annex 4

入力文書：54 (WP 6A)

出力文書：なし

(1) 主要結果

1A/54：本入力 WP1A への WP6A からのリエゾン “Request for inclusion of Recommendation ITU-R BT.1206 in Annex 4 to Recommendation ITU-R SM.1541”。本入力は議長から説明がなされたが、特に議論はなくカウンセラーに相談することとなった。

2.6. Rec. ITU-R SM.329-12

入力文書：73 (ISR)

出力文書：なし

(1) 主要結果

- ① 1A/73 RECOMMENDATION ITU-R SM.329 “Editorial correction in English version” が議長から説明され、特に議論はなく承認された。

2.7. WRC-15 議題

入力文書：41 (WP 5B), 50 (WP 5D), 51 (WP 5D), 56 (WP 5B), 57r1 (WP 5B), 62 (WP 5A), 63 (WP 5A), 69 (WP 5D), 70 (WP 5D), 103 (WP 5A), 64 (JTG 4-5-6-7), 68 (WP 5D)

出力文書：なし

(1) 主要結果

- ① WRC-15 Agenda items (1.1 / Res. 233 (WRC-12)) に関し、1A/41, 50, 51, 56, 57r1, 62, 63, 69, 70, 103 について議長から説明がなされ、特に議論はなく記録 (note) されることとなった。
- ② WRC-15 Agenda items (1.2 / Res. 232 (WRC-12)) に関し、1A/64, 68 について議長から説明がなされ、特に議論はなくノートされることとなった。

Working Group 1A-3: CAT ハンドブックとその他の課題 (議長: Ms. B. Sykes (米国))

3.1. CATハンドブック

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) (Annex 9), 1A/89 (Rapporteur)

出力文書 : 1A/TEMP/37, 1A/TEMP/38R1

(1) 主要結果

今回合会において全ての Annex のレビューを行い、議長報告添付文書としてキャリアフォワードした(1A/TEMP/37)。また、これに伴い、ラポータグループの ToR の見直しも行った(1A/TEMP/38R1)。

(2) 審議概要

1) ITU CAT ハンドブック草案に向けた作業文書

入力文書 : 1A/89

出力文書 : 1A/TEMP/37

ドイツからの DG を設置して本合会でファイナライズしてはどうかとの発言を受けて、ラポータからこれまで Annex 6 への unofficial contribution、さらにロシアからも unofficial contribution があり、作業が継続中であるため、議長に対して今後の進め方のガイダンスが求められた。米国からは 2014 年まで作業を行うことになっており、本合会でのファイナライズに対しては疑義の表明があった。そのため、ラポータからは、2014 年までの作業継続の確認と今合会における DG 会合の提案があり、UAE の Al Balooshi 氏が議長を務めた。

DG において、WP1C 議長からの CAT ハンドブックに対するコメントあった。英語全体の見直し、他の勧告にすでに含まれている電波監視等については再掲しない、製品情報と思われる表現を避ける、特に電波監視に関する記述については WP1C へ周知すること等であった。この WP1C 議長からのコメントに対する対応を議論し、WP1A 議長と米国から各チャプターのラポータを設けることもできること、すでに Spectrum monitoring ハンドブック等で実施されていること等の発言があったが具体的な方針は決定されなかった。

ロシアから提案されたケーススタディが記載の 5.9.3 節の Application software for spectrum monitoring network planning and optimization では、電波監視に関する勧告、ハンドブックでも同様の内容が記載されている事実と特定のソフトウェアの宣伝も兼ねている書き方であるために、大幅な削除が WP1C 議長により提案された。このように、製品に関する情報・宣伝等の表現はハンドブック全体を通して修正され、ハンドブックは技術内容を中心として記述することが強く要請された。

2014 年 1 月会合の Deadline について、11 月の第 2 週とすることが合意された。

2) ラポータグループの ToR 改定

入力文書 : 1A/89

出力文書 : 1A/TEMP/38R1

WP1A 議長からは RG 会合を 1 月の WP1B 会合時期に開催すること、および寄書の締め切り日設定の提案があり、この方針を ToR に盛り込むことになったが、全体の内容改定については質疑なく合意された。ラポータは UAE の Al Balooshi 氏が継続することになった。

3.2. コグニティブ無線システム

入力文書 : 1A/39 (Rev.1) (Annex 11), 1A/55 (WP 5B), 1A/58 (WP 5C), 1A/65 (ドイツ)

出力文書 : Note from WP1A chairman to WP1B chairman

(1) 主要結果

WP1A 議長から WP1B 議長へのノートを作成し、CRS 研究に関する ITU-R レポートに含まれるべきスペクトラム工学分野項目を周知した。

(2) 審議概要

1) CRS 研究に関する ITU-R レポートにおけるスペクトラム工学分野のエレメントについて

入力文書：1A/39 (Rev.1) (Annex 11), 1A/55 (WP 5B), 1A/58 (WP 5C), 1A/65 (ドイツ)

出力文書：Note from WP1A chairman to WP1B chairman

ドイツから CEPT を代表して「ヨーロッパにおける CRS の研究状況」に関する入力文書があったが、米国からは本文書は情報文書ではないかとの発言を受けて、WP1A 議長からは多くの貴重な情報があるので寄書であることが確認された。さらに米国からは議長報告に本文書において WP1A に関係する点を記載するので十分であること、CRS は昨日の合同会合で WP1B が中心となって作業を行うことになっていること、この文書が WP1B にも入力されているので作業の重複を避けるために、ここでは審議不要との発言があったが、WP1A 議長からはドイツに対して WP1A のスコープを考慮して本文書の WP1A 関連部分をノートとして作成することが要請された。これを受けて、ドイツが WP1B へのノートを作成した。米国からドイツがドラフトしたノートでは、Spectrum issue 以外の項目、すなわち WP1A のスコープ外の項目が多数書かれており、それらの項目の削除が要求された。さらにカナダから業務が特定化されるような項目もあり、WP5A 等へのリエゾン文書の送付も考えられるが、各 WP 間の作業の重複等を避けた方がいいとの発言もあった。これらの意見によりドイツから詳細すぎるのであれば削除してもいいとの発言があったために、米国からの提案による一部削除で合意され、WP1A プレナリ承認後に WP1B に送付された。なお、1A/55(WP5B)と 1A/58(WP5C)はともにノートされた。

3.3. 275-1000GHz帯における能動業務

入力文書：1A/40 (SG 1), 1A/47 (WP 3M), 1A/49 (WP 7D), 1A/83 (日本), 1A/84 (日本)

出力文書：1A/TEMP/23, 1A/TEMP/25

(1) 主要結果

昨年の WP1A で提案した新研究課題案は承認されて SG1 に送付された。新レポート草案に向けた作業文書は議長報告書添付されて次回以降さらなる検討が行われることになった。

(2) 審議概要

1) 275GHz 以上で運用される能動業務に関する新レポート草案に向けた作業文書

入力文書：1A/84 (日本)

出力文書：1A/TEMP/23

新レポート案の提案が日本から行われたが、米国からの強いサポートもあり、原案通り本文書を議長報告添付することになった。

2) 275-1000GHz 帯で運用される能動業務の技術運用特性に関する新研究課題案

入力文書：1A/40 (SG 1), 1A/47 (WP 3M), 1A/49 (WP 7D), 1A/83 (日本)

出力文書：1A/TEMP/25

米国から本研究課題案を SG1 に送付することに対してサポートあったが、本文の considering part と decides part の修正提案があり、オフラインで調整した結果、considering part の研究課題番号は研究グループ名に変更され、さらに decides part の共用検討を行う文章は further decides part に移すことによって合意が得られた。WP1A プレナリで承認されて S1 に送付された。なお、1A/40(SG1), 1A/47(WP3M), 1A/49(WP7D)はノートされた。

3.4. Rec. ITU-R SM.1132

入力文書：1A/39 (Rev.1) (Annex 6), 1A/81(米国)

出力文書：1A/TEMP/24

(1) 主要結果

米国提案文書がそのまま議長報告添付された。

(2) 審議概要

1) 勧告 SM.1132-2 の改定草案に向けた作業文書

入力文書：1A/39 (Rev.1) (Annex 6), 1A/81(米国)

出力文書：1A/TEMP/24

米国から前回議長報告添付された文書のアップデートが入力されたが、特段の議論なく議長報告添付されて次回の会合にキャリーオーバーされた。

3.5. WP1Aに割り当てられているITU-R勧告の重要な要素の識別

入力文書：1A/96 (SG 1 Chairman)

出力文書：なし

(1) 主要結果

特段の議論なくノートされた。

(2) 審議概要

1) WP1Aに割り当てられているITU-R勧告の重要な要素の識別

入力文書：1A/96 (SG 1 Chairman)

出力文書：なし

特段の議論なくノートされた。

入力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
39	Chairman, WP 1A	Report of the meeting of Working Party 1A (Geneva, 6 - 13 June 2012)	WP1A 会合の報告
40	SG 1	Liaison statement to Study Groups 3, 4, 5, 7 and relevant Working Parties - Active services operating above 275 GHz	275GHz 以上の周波数帯における業務に関して SG3,4,5,7 及び関連 WP に向けたリエゾン文書
41	WP 5B	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - WRC-15 Agenda item 1.1 (Copy to Working Parties 1A, 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5C, 5D and 7C for information)	WRC-15 議題 1.1 に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
42	SG 5	Study Group 5 Recommendation ITU-R M.1580-4 to be brought to the attention of Study Group 1	SG5 の ITU-R 勧告 M.1580-4 に関して SG1 に向けた文書
43	SG 5	Study Group 5 Recommendation ITU-R M.1581-4 to be brought to the attention of Study group 1	SG5 の ITU-R 勧告 M.1581-4 に関して SG1 に向けた文書
44	WP 3M	Liaison statement to Working Parties 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D and Joint Task Group 4-5-6-7 - Handbook on ITU-R propagation prediction methods for interference and sharing studies	電波伝搬予測方法ハンドブックに関して WP1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D 及びジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
45	WP 3K	Liaison statement to Working Party 6A (copy to Working Party 1A for information) - Definition of location probability - Guidelines for assessment of interference into the broadcasting service from other services/applications	干渉評価のガイドラインに関して WP6A に向けたリエゾン文書
46	WP 3L	Liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Party 1C) - Question ITU-R 230-2/3 brought to the attention of Study Group 1	ITU-R 研究課題 230-2/3 に関して WP1A に向けたリエゾン文書
47	WP 3M	Liaison statement to Working Party 1A - Active services operating above 275 GHz	275GHz 以上の周波数帯における業務に関して WP1A に向けたリエゾン文書
48	BR Study Groups Department	This document has been withdrawn	
49	WP 7D	Liaison statement to Study Group 1 (copy to Working Party 1A) - Active services operating above 275 GHz	275GHz 以上の周波数帯における業務に関して SG1 に向けたリエゾン文書
50	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 on suitable frequency ranges under WRC-15 Agenda item 1.1	WRC-15 議題 1.1 に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
51	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Initial information on spectrum requirements studies for WRC-15 Agenda item 1.1	WRC-15 議題 1.1 に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書

文書番号	提出元	表題	
52	JCA-SG&HN	Liaison statement - Activities related to smart grid	スマートグリッド関連活動に関するリエゾン文書
53	WP 6A	Liaison statement - Comment on Recommendation ITU-R SM.2028 - Protection distance calculation between inductive systems and radiocommunication services using frequencies below 30 MHz	ITU-R 勧告 SM.2028 関連コメントに関するリエゾン文書
54	WP 6A	Liaison statement - Request for inclusion of Recommendation ITU-R BT.1206 in Annex 4 to Recommendation ITU-R SM.1541	ITU-R 勧告 SM.1541 への ITU-R 勧告 BT.1206 包含要求に関するリエゾン文書
55	WP 5B	Liaison statement to Working Party 5A (copy to Working Parties 1A and 1B for information) - Further studies on cognitive radio systems	CRS 研究に関して WP5A に向けたリエゾン文書
56	WP 5B	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 WRC-15 Agenda item 1.1 (copy to Working Parties 1A, 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5C, 5D and 7C for information)	WRC-15 議題 1.1 に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
57	WP 5B	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy for information to the relevant Working Parties of Study Groups 1, 3, 4, 5, 6 and 7) - WRC-15 Agenda item 1.1 operating characteristics of AMT systems	WRC-15 議題 1.1 に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
58	WP 5C	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B (for information to WPs 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 6B, 6C, 7B, 7C, 7D on further studies on cognitive radio systems (CRS))	CRS 研究に関して WP1A 及び 1B に向けたリエゾン文書
59	WP 5B	Liaison statement to Working Party 5A, 1A, 1B, 5C and 6A, ITU-T FG-AVA, ITU-T Study Group 2, ITU-D Study Group 2, ITU-D Study Group 1, ETSI ERM TG 17, JCA-AHF - Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	ITU-R 勧告 M.1076 の修正案に関して WP 5A, 1A, 1B, 5C, 及び 6A に向けたリエゾン文書
60	WP 5A	Liaison statement to Working Parties 1A, 1B, 5B, 5C and 6A (copy to ITU-T FG-AVA, ITU-T Study Group 2, ITU-D Study Group 2, ITU-D Study Group 1, ETSI ERM TG 17, JCA-AHF) - Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	ITU-R 勧告 M.1076 の修正案に関して WP1A, 1B, 5B, 5C 及び 6A に向けたリエゾン文書
61	WPs 5A, 5B and 5C	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A, 4C, 5D, 6A, 7C and 7D (copy to ITU-R Working Party 3L and to ITU-T Study Groups 5, 9 and 15 for information and/or action if any)	WP1A, 4C, 5D, 6A, 7C 及び 7D に向けたリエゾン文書
62	WP 5A	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties (4A, 4B, 4C 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D, 1A, 3K, 3M) for information) - WRC-15 Agenda item 1.1 - Sharing considerations for the 5-6 GHz frequency range for WRC-15 Agenda item 1.1	WRC-15 議題 1.1 に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書

文書番号	提出元	表題	
63	WP 5A	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties (4A, 4B, 4C, 5B, 5C 5D, 6A, 7B, 7C, 7D 1A, 3K 3M) for information) - WRC-15 Agenda item 1.1 - Working Party 5A initial information on spectrum requirements studies for WRC-15 Agenda item 1.1	WRC-15 議題 1.1 に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
64	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Working Parties 5D and 6A (copy to Working Party 1A for information) - Adjacent band compatibility between the mobile broadband uplink and digital terrestrial television broadcasting under WRC-15 Agenda item 1.2	WRC-15 議題 1.2 に関して WP5D 及び 6A に向けたリエゾン文書
65	Germany (Federal Republic of)	Studies on cognitive radio systems (white space devices) in Europe	欧州における CRS 研究
66	ITU-T JCA-AHF	Reply liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	ITU-R 勧告 M.1076 の修正案に関するリエゾン文書の回答文書
67	ITU-T SG 5	Liaison statement - Study Group 5 activities related to interference between radio signal and device or cable connected to wired broadband networks and cable television networks	SG5 の活動に関するリエゾン文書
68	WP 5D	Liaison statement to JTG 4-5-6-7 on adjacent band compatibility between the IMT uplink and digital terrestrial television (DTT) broadcasting under WRC-15 Agenda item 1.2 (copy to Working Party 1A and Working Party 6A for information)	WRC-15 議題 1.2 に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
69	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to WPs 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C, 7D, (WPs 1A, 3K, 3M)) - Suitable frequency ranges above 6 GHz	6GHz 以上の適切な周波数帯に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
70	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Party 4A, Working Party 4B, Working Party 4C, Working Party 5A, Working Party 5B, Working Party 5C, Working Party 6A, Working Party 7B, Working Party 7C, Working Party 7D, Working Party 1A, Working Party 3K, Working Party 3M) - Further elaboration on suitable frequency ranges and their suitability	適切な周波数帯の詳細化に関してジョイントタスクグループ 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
71	ITU-T SG 9	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 1A and Working Parties 5A, 5B and 5C on impact from wired telecommunication (including PLT) on radiocommunication systems	有線通信システムからの影響に関して WP1A, 5A, 5B 及び 5C に向けたリエゾン文書の回答文書
72	Asia-Pacific Telecommunity	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A - Wireless Power Transmission (WPT)	WPT に関して WP1A に向けたリエゾン文書
73	Israel (State of)	Recommendation ITU-R SM.329 - Editorial correction in English version	ITU-R 勧告 SM.329
74	Germany (Federal Republic of)	Man-made noise measurements in the range below 30 MHz at safety related receiving stations in Germany	ドイツにおける 30MHz 帯以下の人工雑音測定

文書番号	提出元	表題	
75	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1A (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B and 5C and ITU-T Study Groups 5, 9 & 15) - Considerations on wired telecommunication systems being developed under G.fast and J.HiNoC	有線通信システムの検討に関して WP1A に向けたリエゾン文書
76	WP 6A	Liaison statement to ITU-T Study Group 5 and ITU-R Working Party 1A (copy to ITU-R Working Parties 1C, 5A, 5B, and 5C for information) - Coexistence of wired and wireless communications systems	有線及び無線通信システムの共存に関して ITU-T SG5 及び WP1A に向けたリエゾン文書
77	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on nomination of JCA-AHF representatives	JCA-AHF 代表者の任命に関するリエゾン文書
78	Chairman, SG 1	Results of the 19th RAG meeting (Geneva, 25 to 27 June 2012)	第 19 回 RAG 会合の結果
79	WP 5B	Liaison statement to the JCA-AHF (copy for information to ITU-R WPs 1A, 1B, 5A, 5C and 6A, ITU-T FG-AVA, SGs 2 and 16, ITU-D SGs 1 and 2 and ETSI ERM TG 17) - Reply liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	ITU-R 勧告 M.1076 の修正案に関するリエゾン文書の回答に関して JCA-AHF に向けたリエゾン文書
80	United States of America	A working document towards a draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT] - Wireless Power Transmission (WPT) systems for wireless charging of mobile devices	新 ITU-R 勧告 SM.[WPT]案に向けた作業文書
81	United States of America	Input on working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1132-2 - General principles and methods for sharing between radiocommunication services or between radio stations	暫定 ITU-R 勧告 SM.1132-2 修正案に向けた作業文書
82	Rapporteur	Rapporteur Group on coexistence of wired telecommunication with Radiocommunication systems	有線・無線通信システムの共存に関するラポーターグループ
83	Japan	Draft new Question ITU-R SM.[THZ] - Technical and operational characteristics of the active services operating in the range 275-1 000 GHz	新 ITU-R 研究課題 SM.[THZ]案
84	Japan	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ_TREND] - Technology trends of active services in the band above 275 GHz	暫定新 ITU-R 報告 SM.[THZ_TREND] 案に向けた作業文書
85	Japan	Proposal for new ITU-R texts on wireless power transmission	無線電力伝送に関する新 ITU-R 文書の提案
86	Japan	Material for inclusion in the preliminary draft new Report on wireless power transmission - Japan's studies and experiments on wireless power transmission	無線電力伝送に関する暫定新報告案への資料
87	Germany (Federal Republic of)	Proposal for a new Question on the characterization of the unwanted emission in the spurious domain	スプリアス領域における不要輻射の特徴に関する新研究課題の提案

文書番号	提出元	表題	
88	Germany (Federal Republic of)	On unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains	帯域外及びスプリアス領域における不要輻射
89	Rapp. RG WP 1A rev. ITU H'book on "Computer.."	Report of the Rapporteur Group on the revision of the ITU Handbook on "Computer aided techniques for spectrum management (2005)"	周波数管理における CAT に関する ITU ハンドブックの修正案に関するラポータグループの報告
90	Korea (Republic of)	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[PORTABLE_WPT] and associated Correspondence Group	暫定新 ITU-R 勧告 SM.[PORTABLE_WPT]案に向けた作業文書及び関連 CG
91	Korea (Republic of)	Improvement on working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[PLT RAD-PSD] - Methodologies for relating the radiation from PLT installations to PLT modem output	暫定新 ITU-R 報告 SM.[PLT RAD-PSD] 案に向けた作業文書の改善
92	IEEE	Working document towards a PDN Report ITU-R SM.[SMART_GRID] - Smart grid power management systems	暫定新 ITU-R 報告 SM.[SMART_GRID] 案に向けた作業文書
93	China (People's Republic of)	Information paper - Wireless power transmission	WPT に関する情報文書
94	European Broadcasting Union	Comments on Annex 3 to Document 1A/39 (Working document towards a PDN Report ITU-R SM.[SMART_GRID])	文書 1A/39 の附属 3 に関するコメント
95	European Broadcasting Union	Comments on ITU-T Recommendations K.60 and K.MHN as a response to the liaison statement from ITU-T SG5 in Document 1A/67 and its Addendum 1	ITU-T 勧告 K.60 及び K.MHN に関するコメント
96	Chairman, SG 1	Results of the 20th RAG meeting (Geneva, 22 to 24 May 2013)	第 20 回 RAG 会合の結果
97	WPs 5A, 5B and 5C	Joint liaison statement to ITU-R Working Party 1A and ITU-T Study Group 15 (copy to ITU-R Working Parties 1C, 5D & 6A for information) - Coexistence of wired and wireless communications systems - Further developments on Recommendation ITU-T G.FAST	有線・無線通信システムの共存に関して ITU-R WP1A 及び ITU-T SG15 に向けたジョイントリエゾン文書
98	WPs 5A, 5B and 5C	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A and ITU-T Study Group 9 (copied for information to ITU-T Study Groups 5 and 15, and ITU-R Working Parties 3L, 4C, 5D, 6A, 7C and 7D) - Impact from wired telecommunication (including PLT) on Radiocommunication systems	有線通信システムからの影響に関して ITU-R WP1A 及び ITU-T SG9 に向けたリエゾン文書
99	WPs 5A, 5B and 5C	Joint liaison statement to ITU-R Working Party 1A and ITU-T Study Groups 5 & 9 (copy to ITU-R Working Parties 1C and 5D for information) - Coexistence of wired and wireless communications systems - Revision of Recommendation ITU-T K.60	有線・無線通信システムの共存に関して ITU-R WP1A 及び ITU-T SG5,9 に向けたジョイントリエゾン文書

文書 番号	提出元	表題	
100	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	ITU-R 勧告 M.1076 の修正案
101	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1A/39 - 1A/101)	入力文書一覧

出力文書一覧

文書 番号	表題		備考 (提出元)
21	Draft new Question ITU-R XXX/1 - Characterisation of the unwanted emissions in the spurious domain for digital modulation technology	スプリアス領域における不要輻射の特徴に関する新 ITU-R 研究課題案	WP 1A (WG 1A-2)
22	Draft Terms of Reference for the proposed Study Group 1 [Co]-Rapporteur[s] on the review of ITU-R Recommendations in the SM Series for the database on ITU-R Recommendations	ITU-R 勧告 SM シリーズのレビューに関して SG1 レポートに向けた ToR 案	Chairman, SG 1
23	Working document Towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[THz_TREND]- Technology trends of active services in the band above 275 GHz	暫定新 ITU-R 報告 SM.[THz_TREND]案に向けた作業文書	WP 1A
24	Input on working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1132-2 - General principles and methods for sharing between radiocommunication services or between radio stations	暫定 ITU-R 勧告 SM.1132-2 修正案に向けた作業文書	WP 1A
25	Draft new Question ITU-R [THz] - Technical and operational characteristics of the active services operating in the range 275-1 000 GHz	275-1000GHz 帯における技術・運用上の特徴に関する新 ITU-R 研究課題案	WP 1A
26	Draft modification OF Recommendation ITU-R SM.1541-4- Unwanted emissions in the out-of-band domain	ITU-R 勧告 SM.1541-4 の改定案	WP 1A
27	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1879-1 - The impact of power line high data rate telecommunication systems on radiocommunication systems below 30 MHz and between 80 and 470 MHz	ITU-R 勧告 SM.1879-1 の修正案	WP 1A (WG 1A-1)
28	Draft editorial modification of Recommendation ITU-R SM.329-12 - Unwanted emissions in the spurious domain	ITU-R 勧告 SM.329-12 の改定案	WP 1A (WG 1A-2)
29	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 3L - Long-term man-made noise measurements below 30 MHz	30MHz 以下の長期人工雑音測定に関して ITU-R WP3L に向けたリエゾン文書案	WP 1A (WG 1A-1)

文書 番号	表題		備考 (提出元)
30	Draft new Report ITU-R SM.[PLT RAD-PSD] - Methodologies to relate radiation from PLT installations to PLT modem output	新 ITU-R 報告 SM.[PLT RAD-PSD]案	WP 1A (WG 1A-1)
31	Reply liaison statement to Working Party 6A - Comment on Recommendation ITU-R SM.2028	ITU-R 勧告 SM.2028 のコメントに関して WP6A に向けたリエゾン文書の回答文書	WP 1A (WG 1A-2)
32	Draft modification of Report ITU-R SM.2158-2 with regard to man-made noise - Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	人工雑音に関する ITU-R 報告 SM.2158-2 の改定案	WP 1A (WG 1A-1)
33	Draft liaison statement to Working Party 3L on Question ITU-R 230-2/3 brought to the attention of Study Group 1	ITU-R 研究課題 230-2/3 に関して WP3L に向けたリエゾン文書案	WP 1A
34	Draft reply liaison statement from SG 1 to CISPR - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	ITU-R 研究課題 210-3/1 に関して SG1 から CISPR に向けたリエゾン文書の回答文書案	WP 1A (WG 1A-2, DG 1A-2 (WPT))
35	Liaison statement to Working Party 5B - Continuing studies towards improved out-of-band roll-off for radars to enhance spectrum efficiency	レーダーの帯域外ロールオフ改善に向けた継続検討に関して WP5B に向けたリエゾン文書	WP 1A
36	Draft revision of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[SMART_GRID] - Smart grid power management systems	暫定新 ITU-R 報告 SM.[SMART_GRID] 案に向けた作業文書の修正案	WP 1A (WG 1A-1)
37	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU Handbook on computer-aided techniques for spectrum management (CAT)	周波数管理における CAT に関する ITU ハンドブックの暫定修正案に向けた作業文書	WP 1A (WG 1A-3)
38	Updated terms of reference for the WP 1A Rapporteur Group on the revision of the ITU Handbook on "Computer aided techniques for spectrum management"	周波数管理における CAT に関する ITU ハンドブックの修正に関して WP1A ラポーターグループに向けた更新 ToR	WP 1A (WG 1A-3)
39	Report on the second 2012-2015 meeting of Working Party 1A-3	WP1A-3 の 2012-2015 年第 2 回会合の報告	Chairman, WG 1A-3
40	Report from meetings of Working Group 1A-1	WG1A-1 会合の報告	Chairman, WG 1A-1

文書 番号	表題	備考 (提出元)	
41	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 5 (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5c, 6A, 7B, 7C and 7D) - Activities of ITU-T Study Group 5 related to interference between radio signal and device or cable connected to wired broadband networks and cable television networks	ITU-T SG5 の活動に関して ITU-T SG5 に向けたリエゾン文書案	WP 1A
42	Liaison statement to ITU-T Study Group 9 (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D and ITU-T Study Group 5) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU-T J.195 (J.HiNoC-req)	有線・無線通信システムの共存に関して ITU-T SG9 に向けたリエゾン文書	WP 1A (WG 1A-1)
43	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 for information and action (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU-T G.fast	有線・無線通信システムの共存に関して ITU-T SG15 に向けたリエゾン文書	WP 1A (WG 1A-1)
44	Draft revised Terms of Reference for the Rapporteur Group on coexistence of wired telecommunication with radiocommunication systems	有線・無線通信システムの共存に関して ラポーターグループに向けた ToR 修正案	WP 1A (WG 1A-1)
45	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Streamlining future cooperation within ITU-R and liaison with ITU-T	有線・無線通信システムの共存に関して ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C 及び 7D に向けたリエゾン文書	WP 1A (WG 1A-1)
46	Draft reply liaison statement to CISPR - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	ITU-R 研究課題 210-3/1 に関して CISPR に向けたリエゾン文書の回答文書案	WP 1A (WG 1A-2, DG 1A-2 (WPT))
47	[Draft] reply liaison statement to APT - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	ITU-R 研究課題 210-3/1 に関して APT に向けたリエゾン文書の回答文書案	WP 1A (WG 1A-2, DG 1A-2 (WPT))
48	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT] - Wireless power transmission (WPT) systems	暫定新 ITU-R 勧告 SM.[WPT]案に向けた作業文書	WP 1A (WG 1A-2, DG 1A-2 (WPT))

文書 番号	表題		備考 (提出元)
49	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	暫定新 ITU-R 報告 SM.[WPT.NON-BEAM]案に向けた作業文書	WP 1A (WG 1A-2, DG 1A-2 (WPT))
50	[Draft] Terms of reference (TOR) for a correspondence group (CG-WPT) on developing content for possible preliminary draft new report and recommendation on wpt	WPT の CG に関する ToR 案	WP 1A (WG 1A-2)
51	Draft liaison statement to external organizations- Studies on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	ITU-R 研究課題 210-3/1 に関して外部組織に向けたリエゾン文書案	WP 1A (Drafting Group 1A-2)
52	Wireless Power Transmission (WPT), protection of radiocommunication services and unwanted emissions - Summary conclusions in Working Group 1A-2	WG1A-2 の結果概要	WP 1A (WG 1A-2)
53	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.BEAM] - Wireless power transmission via radio frequency beam	暫定新 ITU-R 報告 SM.[WPT.BEAM]案に向けた作業文書	WP 1A

2013年6月 ITU-R WP1B 会合報告書（案）

- 【会合名称】 ITU-R WP1B 会合
 （周波数管理手法に関する作業部会）
- 【会期】 2013年6月4日（火）～6月11日（火）
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概要】

本会合は、今研究期間における第2回会合である。32ヶ国の主管庁と2のROA (Recognized Operating Agencies)、5のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、3の国際機関事務局などから計98名が参加した。日本からは、遠藤氏（総務省）、小川氏（ARIB）、森氏（ワットソア）の3名が参加した。

韓国、中国、カナダ、米国、ロシアなどからの寄与文書及び前回の議長報告と他グループからのリエゾン文書を含め合計56件の入力文書が審議され、21件の出力文書が作成された。

会議では、3つのWorking Group (WG)が設置され、各議題についての審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

表-1 WP1B の会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1B 議長：Mr. N. Al-Rashedi 氏 (UAE)
Working Group 1B-1 議長：Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D)) 担当：ショートレンジデバイス等
Working Group 1B-2 議長：Mr. N. Al-Rashedi 氏 (UAE) ¹ 担当：WRC-15 関連事項
Working Group 1B-3 議長：Mr. R.Chang (CHN) ² 担当：その他

¹ 前回の会合では、カナダの Sward 氏が議長を務めていたが、本会合から WP1B 議長が兼務することとなった。議長変更の理由については説明されなかった。

² 本会合では Chang 氏が不在であったことから、同国の Mr. Ding 氏が議長代理を務めた。

1 Working Group 1B-1 (議長: Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D))

1.1 ショートレンジデバイス(SRDs)

入力文書： 1B/44(WP5D), 45(ITU-T FG AVA0, 46(WP 6A), 47(WP5B), 49(WP 5C), 51(WP 5B), 52(WP 5A), 53(D), 54(ITU-T SG 16), 55(WP 5D), 56(WP 5D), 57(ITU-T JCA-AHF), 62(HOL), 64(ITU-T JCA-AHF), 67(ITU-T JCA-AHF), 70(WP 5B), 82(CAN), 86(WP5A)

出力文書： 1B/TEMP/37,38,39,43,50

(1) 主要結果

WG1B1 は本会合中に計 3 回開催した。当該 WG においては、コグニティブ無線に関する DG を設置し、Sward 氏 (CAN) が務めることになったが、それ以外はすべて WG1B-1 において審議を行った。

検討内容としては、主に下記の議題について、審議を行った。

- 1) SRD の技術/運用パラメータと周波数利用に関する報告 ITU-R SM.2153 の改訂案
- 2) 聴覚障がい者のための無線通信システムに関する勧告 ITU-R M.1076 の改訂に関するリエゾン文書
- 3) ホワイトスペースにおけるコグニティブ無線の利用に関する新レポート草案 (PDNRep.)

(2) 審議概要

1) SRD の技術/運用パラメータと周波数利用に関する報告 ITU-R SM.2153 の改訂案

入力文書： 1B/62(HOL)

出力文書： 1B/TMP/39

オランダから、報告 ITU-R SM.2153 に CEPT における SRD の最新技術及び運用パラメータ並びに周波数要求を反映する提案がなされた。審議においては特段の異論なく、承認され、SG1 へ上程された(1B/TMP/39)。なお、本文書は SG1 においても承認され、報告改訂が完了した。

2) 聴覚障がい者のための無線通信システムに関する勧告 ITU-R M.1076 の改訂に関するリエゾン文書

入力文書： 1B/45(ITU-T FG AVA), 51(WP 5B), 52(WP 5A), 54(ITU-T SG 16), 57(ITU-T JCA-AHF), 64(ITU-T JCA-AHF), 67(ITU-T JCA-AHF), 70(WP 5B), 86(WP 5A)

出力文書： なし

WP5A で改訂作業を行っている聴覚障がい者のための無線通信システムに関する勧告 ITU-R M.1076 に関して、WP5B や ITU-T から WP5A に対してリエゾン文書が発出されており、これらのリエゾン文書が参考として WP1B にも入力されたという経緯である。これについては、WP5A に対するリエゾンバックを行う案も検討されたが、WP5A に対するリエゾンバックのみで十分であるかという点で見解が分かれたことに加え、本会合への入力が主管庁からのものではなく、すべてリエゾン文書である点を踏まえるとしても、これに対して何のアクションもとらないのは不適切である、という結論に至ったことから、本件を審議した旨だけが、WP1B 議長報告に記載され、外部組織、WP へのリエゾンバック文書の発出はしないことで合意された。

3) ホワイトスペースにおけるコグニティブ無線の利用に関する PDNRep.

入力文書： 1B/46(WP 6A), 47(WP 5B), 49(WP 5C), 53(D), 55(WP 5D), 56(WP 5D), 82(CAN)

出力文書： 1B/TMP/37, 38, 50

CRS は周波数管理の側面から、一部 WP1B も所掌しているが、主な研究主体は WP5A とされている。これに関して WP5B,C,D や WP6A などから WP5A に対するリエゾン文書が発出されており、その文書が WP1B にも参考として情報提供されたという経緯である。これらについては情報として了知された。

一方で、カナダからの入力文書（1B/82）をもとに、CRS を活用することでホワイトスペースの周波数帯をより効率的に利用することができるとの理解を踏まえ、これに関する PDNRep を作成することで合意された。DG 議長はカナダが務めることとされ、報告の編纂作業は次回以降も継続することで合意された（主題：PDNRep. ITU-R SM.[WHITE SPACE], 1B/TMP/38）。また、このような報告が草案されていることについて注意を喚起し、協力を呼びかけるリエゾン文書が作成され、WP5B,5C,5D,6A,7B,7C,7D に対して発出された(1B/TMP/37)。なお、「ホワイトスペース」という用語については ITU-R が作成する複数の文書において異なる定義・解釈がなされているため、この点について CCV（Coordination Committee for Vocabulary）に見解を求めるとともに、リエゾン文書が WP1B から発出された(1B/TMP/50)。

4) ITU-T SG15 からの狭帯域無線ホームネットワークに関する LS 文書

入力文書：1B/44(WP 5D)

出力文書：なし

WP5D から ITU-T SG15 に向けて送られたリエゾン文書が WP1B にも参考として情報提供された。当初、本件については CG を設置し議論する予定とされていたが、過去 2 年間にわたり活動が前進しておらず、WP1B における今後の審議の必要性はないとの合意に至ったことから、本事項は WP1B の審議主題からは外すことで合意された。

2. Working Group 1B-2（議長:Mr. Al-Rashedi（UAE））

2.1 WRC 関連事項

入力文書：1B/43(ITU-T FG DR&NRR), 50(WP 5C), 58(WMO), 60(ITU-T FG DR&NRR), 63(WP 4C), 68(RUS), 71(WP 4A), 78(CHN), 83(CAN)

出力文書：1B/TEMP/30,31,32,40,41,42

(1) 主要結果

WRC-15 の議題の中で WP1B が所掌する議題について審議された。議題 9.1.4（RR の更新と並べ替え（WRC 決議 67））についてはロシアからの入力文書をもとに、CPM テキスト、作業文書の 2 点が改訂されたほか、特別委員会 WP へのリエゾン文書が作成された。議題 9.1.6（固定業務、固定局、移動局の定義変更（WRC 決議 957））については、中国からの入力文書をもとに PDNRep. が改訂された。現行の PDNRep.からは読み取りにくい中国の本議題に関する見解は「定義変更は不要である」という我が国と同じものであることが確認された。議題 9.1.7（緊急・災害復旧用無線通信のための周波数管理ガイドライン（WRC 決議 647））については主管庁からの入力文書がなかったことから作業に進展はなかった。また、議題 9.2 についてはカナダからの入力文書が審議され、局長報告に含める要素が一部改訂されたが、本議題に関する今後の審議は特別委員会 WP が主導すべきとの判断から、その旨を連絡するリエゾン文書が特別委員会 WP へと発出され、作業中の文書は特別委員会 WP へと引き継がれた。本会合からの成果は作業文書としてキャリーフォワードされたものか、リエゾン文書のみであり、SG1 での承認を仰ぐ文書は作成されなかった。

(2) 審議概要

1) 議題 9.1.4（RR の更新と並べ替え（WRC 決議 67））

入力文書：1B/58(WMO),68(RUS)

出力文書：1B/TMP/31,32,41

ロシアからの寄書（1B/68）が 1 件入力され、これをもとに①議題 9.1.4 の CPM テキスト案（1B/TMP/31）、②報告 ITU-R SM.[Res.67]の作業文書（1B/TMP/32）、③議題 9.1.4 に関する特別委員会 WP へのリエゾン文書の 3 つの文書（1B/TMP/41）が出力された。ロシアからの提案内容は上記の①および②において RR の Annex 4 及び 5 の条項の主題を修正する提案であり、内容に関わる修

正ではなかったことから議論なく承認され、当該文書に反映された。WP1B においても同様に議論なく承認された。なお、本事項には WMO からの入力文書(1B/58)も割り当てられていたが、文書内容が主に議題 9.1.6 に関するものであったことから審議されなかった。

2) 議題 9.1.6 (固定業務、固定局、移動局の定義変更 (WRC 決議 957))

入力文書：1B/50(WP5C),58(WMO),63(WP4C),71(WP4A),78(CHN)

出力文書：1B/TMP/40,42

DG を 2 回開催し (議長：中国)、中国からの入力文書(1B/78)をもとに PDNRep. ITU-R SM.[RES.957]が改訂された(1B/TMP/40)。中国からの入力文書は PDNRep.の中の「2. 現在の地上業務の制度及び運用環境」の「2.1 固定業務及び移動業務」への、第 1～第 3 地域の固定業務及び移動業務の割当状況に関する表及び表の解釈の追加であり、固定業務及び移動業務への割り当て状況について整理した上で、現在の固定業務、固定局及び移動局の定義が周波数の割当てに効果を及ぼしていないことや、固定局の定義を変更することにより様々な業務、局間の調整や混信の調整が困難になる、という改訂提案であった。これについては、DG における審議を経て「(定義を変更すると)局間の調整が困難になる」という書きぶりから「困難になるかもしれない」といったように表現が緩和されるなどの修正を経て作業文書として次回へキャリアフォワードされることで合意された。なお、中国の入力文書の原文からは同国の意図が不明瞭であったが、本会合中の審議を経て中国の基本方針は「定義変更は必要ない」という点において WRC-12 における同国の見解から変わりはなく、我が国と同じ方向にあることが確認された。

一方、議題 9.1.6 関連で WP1B に入力されたリエゾン文書はノートされた。また、上述の PDNRep. への注意を喚起するリエゾンバック文書 (1B/TMP/42) が発出されたが、その際、本会合への入力があった WP だけでなく、議題に関連する WP をすべて含めるべきとの判断から WP4A,4C,5A,5C, 5D,7B,7C,7D 宛てとすることで合意された。

3) 議題, 9.1.7 (緊急・災害復旧用無線通信のための周波数管理ガイドライン (WRC 決議 647))

入力文書：1B/43(ITU-T FG DR&NRR),58(WMO),60(ITU-T FG DR&NRR)

出力文書：なし

本件については本会合における入力文書が外部組織からのリエゾン文書のみであったことから、これらの文書がノートされた上で、前回会合の議長報告 Annex (1B/42(Annex 12) がそのままキャリアフォワードされることで合意された。

4) その他 (議題 9.2、勧告 16 など)

入力文書：1B/58(WMO),83(CAN)

出力文書：1B/TMP/30

本議題については前回会合において RR における「付加分配 (additional allocation)」の記載を改める等の提案がカナダから提出され、WRC-15 に提出される局長報告の一部の要素 (1B/42 (Annex 13)) が作成されたという経緯がある。本会合において再びカナダから RR 第 5 条の脚注において業務の種類 ("Different category of service") の記載を明確にする主旨の入力文書(1B/83) が提出され、これを上述の Annex 13 に統合した文書が作成されたが、本文書は RR の規制面に直接的に関与する内容であることから、今後は WP1B で審議するのではなく、特別委員会 (SC) WP に審議を委ねることが適切であろうとの結論に至った。そのため、本文書の内容と審議状況に関するリエゾン文書が SC-WP 宛に発出された (1B/TMP/30)。

なお、勧告 16 と課題 ITU-R 224/1 に関連した PDNRep. ITU-R SM.[INTERF_MNGNT] (複数の無線業務のもとで運用される無線局の干渉管理)については、モーリシャスから前回会合の議長報告 Annex (1B/42 (ANNEX 3)) を改訂する提案が入力文書提出期限を過ぎた後に提出された。これについて本会合の審議対象にするかを WG1B-2 で議論した結果、スウェーデンやロシアから改訂内容が広範に渡ることから各国主管庁に適切な検討時間を与えるべきとの見解が出され、次回会合にモーリシャスが改

めて入力することで合意された。

3. Working Group 1B-3 (議長代理:Mr. Ding (CHN))

3.1 その他の検討事項

入力文書： 1B/59(USA), 61(ISR), 66(BEN), 69(RUS), 72(CLM), 73(Rapporteur), 74(KOR), 75(KOR), 76(KOR),77(CHN), 79(G), 81(UKR), 84(CAN), 85(SG1 議長), 88(SG1 議長)

出力文書： 1B/TEMP/33,34,35,36,44,45,46,47,48,49

(1) 主要結果

WG1B3 は本会合中に計 6 回開催され、3 件の勧告、3 件の報告および 1 件のハンドブックの改訂作業などの審議を行った。

審議結果としては、下記の文書についての作成、承認等を行った。

- 3 件の勧告の改訂の承認：1 件を SG1 に上程、2 件をキャリアフォワード
- 3 件の報告に関する審議：2 件をキャリアフォワード、1 件は WP1C の所掌とされたため WP1B では審議されなかった
- ハンドブックについて、一部を更新した上で、引き続きの作業を加速させるため、章ごとのレポートを設けた

(2) 審議概要

①勧告 SM.1370-1 : Design guidelines for developing automated spectrum management systems

入力文書： 1B/59(USA),61(ISR)

出力文書： 1B/TMP/34

前回の会合でほぼ完成していたが、一部に不明瞭な記載があったことから SG1 への上程が見送られた経緯がある。本会合には米国、イスラエルから主に修辭的修正や情報を更新する提案がなされ、イスラエルが議長を務める DG においてこれらが反映され、勧告改訂案(TMP/34)が完成し、SG1 に上程された³。

②勧告 SM.1603 : Spectrum redeployment as a method of national spectrum management

入力文書： 1B/66(BEN)

出力文書： 1B/TMP/36

ベニンから、通信機器が使えなくなったときに周波数再配置をするのではなく、周波数免許が失効する前に周波数再配置をすることが重要であるという点を紹介する同国における周波数再配置の実例を Annex に追加する提案がなされた。これについては、有益な提案ではあるものの、本文書は勧告であることから個別事例を Annex に入れることは不適切であるとの意見があった（イスラエル、スウェーデン、ドイツ）。審議の結果、同文書は作業文書という位置づけであることから、本会合の出力文書としてはベニンの提案内容を統合した形で TMP 文書とし、次回の会合以降改めて審議することでよいとされた。

③勧告 SM.1413-2 : Radio communication Data Dictionary (RDD)

入力文書： 1B/79(G)

出力文書： 1B/TMP/44,45

図表の改訂等の作業を継続したほか特段の議論はなく、英国からの入力文書をもとに更新された RDD 改定案が本会合の議長報告に添付され、次回会合にキャリアフォワードされることで

³ SG1 においても承認された

合意された。また、本作業を完成させることを目指す CG の ToR も作成された(TMP/45)。

④報告 SM.2012-3 : Economic Aspects of Spectrum Management

入力文書 : 1B/77(CHN)

出力文書 : 1B/TMP/35

中国からの入力文書に基づき、同国の電波利用料に関する情報等が追加された作業文書が特段の議論なく承認され(TMP/35)、次回会合にキャリーフォワードされた。

⑤報告 SM.2257: Major Events

入力文書 : 1B/81(UKR)

出力文書 : なし

ウクライナからの入力文書は WP1C で審議されたことから、WP1B においては審議されなかった。

⑥National Spectrum Management (NSM) Handbook

入力文書 : 1B/72(CLM),73(Rapporteur),74(KOR),75(KOR),76(KOR),84(CAN)

出力文書 : 1B/TMP/47,48

Rapporteur Group (RG)の活動成果に本会合への入力文書を統合する形で TMP 文書が完成した (1B/TMP/48)。今後も RG 活動を継続することで合意され、RG 議長もこれまで通り、UAE の Sharif 氏が担当することになった。ただし、当該文書の分量が多いため、章ごとに区分した上でチャプターレポートを設置することになり(1B/TMP/48)、これまでの入力文書を踏まえ、韓国、コロンビアが任命された。一部、空席があり、場合によってはフランスが引き受けることで暫定的な体制が整えられた。引き続き各国からのさらなる入力を要請している。

⑦使用周波数帯毎における関連 ITU-R 勧告の整理について

入力文書 : 1B/85(SG1 議長)

出力文書 : 1B/TMP/33

使用周波数帯毎における関連 ITU-R 勧告の整理については WP ではなく SG レベルで実施することとされ、WP1B における審議は省略された。ただし、RAG における決定事項を受け、SG1 における関連 ITU-R 勧告の整理を進めるための ToR が SG1 議長により作成され、各 WP から出力される TMP 文書として位置づけられた(1B/TMP/33)。なお、この勧告整理の作業においてはロシアとベニンがレポートを務めることとされた。

⑧デジタルディビデントに関する PDNRep.

入力文書 : 1B/69(RUS), 88(SG1 議長)

出力文書 : 1B/TMP/46

デジタルディビデントの PDNRep.作成については今年の SG1 会合において CG の設置が合意され、CG 活動が開始されてきた。これについては SG1 に所属する活動と位置づけられていたが、本会合初日に開催されたステアリング審議において、WP1B の所掌とすることで合意された。これを受け、本件についてはロシアからの入力文書(1B/69)に加え、当初は本項目に割り振られていなかったベニンからの入力文書(1B/66)も、その内容を踏まえた上で、本報告に統合することもありえるとの可能性が議論された結果、両国の情報を Annex として暫定的に維持することで詳細の審議は次回会合へとキャリーフォワードされた。

後に実施された SG1 における審議を経て、今後の CG 活動は WP1B の傘下において実施されることで合意されたが、本件が扱う主題である「デジタルディビデント」には特定の周波数帯を示す定義が存在しないことや、本 CG 活動の ToR によれば議題 1.1、1.2 に関する事項は明らかにスコープ外にすると記載されているものの、それでも WRC-15 との関連という観点から本 CG 活動の主旨に反対する見解（イラン）もあり、このような観点も含めて次回会合において審

議を継続するとされた。

- ⑨決議 ITU-R 60（エネルギー消費の低減）に関する審議
入力文書が一切なかったことから審議は行われなかった。

文書番号	提出元	表題	
37	Chairman, SG1	Conclusions from the joint meeting of Working Parties 1A, 1B and 1C	WP1A,1B,1C 合同会合からの報告
38	Chairman, WP1A	Note to the Chairman of Working Party 1B - Working Party 1A Document(s) brought to the attention of Working Party 1B	WP1A 議長から WP1B 議長へのメモ
39	Vice-Chairman, WP 1C	Note to the Chairmen of Working Parties 1B and 1A - Working Party 1C Document brought to the attention of Working Parties 1A and 1B	WP1C 副議長から WP1B,1A 議長へのメモ
40	Vice-Chairman, WP 1C	Note to the Chairmen of Working Parties 1A and 1B - Liaison statement to relevant Working Parties of Study Group 5 on further studies on cognitive radio systems (CRS)	WP1B,1A 議長へのメモ : SG5 関連 WP に向けたコグニティブ無線システム(CRS)に関するリエゾン文書
41	Director, BR	Final List of Participants - Working Party 1B	WP1B 最終参加者一覧
42	Chairman, WP 1B	Report of the meeting of Working Party 1B	WP1B 会合 議長報告書
43	Chairman, FG-DR&NRR	Liaison statement - Establishment of Focus Group on Disaster Relief Systems, Network Resilience and Recovery	災害救済、ネットワーク回復 (DR&NRR)フォーカスグループの設立に関するリエゾン文書
44	WP 5D	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 regarding G.WNB, narrow-band wireless home networking (copy to ITU-R, Working Parties 1B and 5A)	狭帯域無線ホームネットワークに関する ITU-T の SG15 に向けたリエゾン文書
45	ITU-T FG AVA	Reply liaison statement for FG-AVA to ITU-R Working Party 5A on technical characteristics of wireless aids for hearing impaired people operating in the VHF and UHF frequency range (AVA-I-0171)	ITU-T FG AVA から WP5A に向けた補聴器に関するリプライ・リエゾン文書
46	WP 6A	Liaison statement to Working Party 5A with copy to Working Parties 5C, 5D and 1B on further studies on cognitive radio systems (CRS)	WP5A に向けたコグニティブ無線システム(CRS)に関する研究に関するリエゾン文書
47	WP 5B	Liaison statement to Working Party 5A (copy to Working Parties 1A and 1B for information) - Further studies on cognitive radio systems	WP5A に向けたコグニティブ無線システム(CRS)に関する研究に関するリエゾン文書
48	WP 5A	Liaison statement to Working Party 5B (copy for information to Working Parties 1B, 3M, 5C, 7B, 7D) - Information on amateur service systems at 77.5-78 GHz for use in sharing studies for WRC-15 Agenda item 1.18	WP5B に向けた 77.5 - 78GHz でのアマチュアサービスシステムに関するリエゾン文書
49	WP 5C	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B (for information to WPs 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 6B, 6C, 7B, 7C, 7D on further studies on cognitive radio systems (CRS))	WP1A,1B に向けたコグニティブ無線システムに関するリエゾン文書
50	WP 5C	Liaison statement to Working Party 1B - WRC-15 Agenda item 9.1, issue 9.1.6	WP1B に向けた WRC-15 議題 9.1 (Issue 9.1.6)に関するリエゾン文書
51	WP 5B	Liaison statement to Working Party 5A, 1A, 1B, 5C and 6A, ITU-T FG-AVA, ITU-T Study Group 2, ITU-D Study Group 2, ITU-D Study Group 1, ETSI ERM TG 17, JCA-AHF - Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	WP5A,1A,1B,5C,6A, ITU-T FG-AVA, ITU-T SG2, ITU-D SG2, ITU-D SG1, ETSI ERM TG 17, JCA-AHF に向けた ITU-R 勧告 M.1076 の修正案に関するリエゾン文書

文書番号	提出元	表題	
52	WP 5A	Liaison statement to Working Parties 1A, 1B, 5B, 5C and 6A (copy to ITU-T FG-AVA, ITU-T Study Group 2, ITU-D Study Group 2, ITU-D Study Group 1, ETSI ERM TG 17, JCA-AHF) - Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	WP1A, 1B, 5B, 5C and 6Aに向けた ITU-R 勧告 M.1076 の修正案に関するリエゾン文書
53	Germany	Studies on cognitive radio systems (white space devices) in Europe	ヨーロッパにおけるコグニティブ無線システムに関する研究
54	ITU-T SG 16	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 5A on technical characteristics of wireless aids for hearing impaired people operating in the VHF and UHF frequency range	ITU-R の WP5A に向けた補聴器に関するリプライ・リエゾン文書
55	WP 5D	Liaison statement to Working Party 6A on further studies on cognitive radio systems (CRS) (copy to Working Parties 1B, 5A and 5C)	WP6A に向けたコグニティブ無線システムに関するリエゾン文書
56	WP 5D	Liaison statement to Working Party 1B on further studies on cognitive radio systems (CRS)	WP1B に向けたコグニティブ無線システムに関するリエゾン文書
57	ITU-T JCA-AHF	Reply liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	ITU-R 勧告 M.1076 の修正案に関する回答書
58	World Meteorological Organization	Liaison statement to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 7B, 7C, JTG 4-5-6-7 and the Special Committee as responsible Groups for WRC-15 Agenda items 1.1, 1.3, 1.5, 1.6, 1.9, 1.10, 1.11, 1.12, 1.17, 1.18, 7, 9.1.1, 9.1.2, 9.1.5, 9.1.6, 9.1.8, 10 (copy to Working Party 5D)	WP1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 7B, 7C, JTG 4-5-6-7 に向けたリエゾン文書
59	United States of America	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1370-1 - Design guidelines for developing automated spectrum management systems	周波数管理システムの発展に向けたガイドライン策定に関する ITU-R 勧告 SM.1370-1 の暫定修正案
60	ITU-T FG-DR&NRR	Status report of the Focus Group on Disaster Relief Systems, Network Resilience and Recovery (FG-DR&NRR)	災害救済、ネットワーク回復 (DR&NRR) のフォーカスグループの状況報告書
61	Israel (State of)	Update to Recommendation ITU-R SM.1370 - Design guidelines for developing automated spectrum management systems	周波数管理システムの発展に向けたガイドライン策定に関する ITU-R 勧告 SM.1370 のアップデート
62	Netherlands	Proposal regarding the update of Report SM. 2153-3 - Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range devices	短距離無線機器の技術/運用パラメータと周波数利用に関する ITU-R レポート SM.2153-3 の修正案
63	WP 4C	Liaison statement to Working Part 1B - WRC-15 Agenda item 9.1, Issue 9.1.6	WP1B に向けた WRC-15 の議題 9.1 (Issue 9.1.6) に関するリエゾン文書
64	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on nomination of JCA-AHF representatives	JCA-AHF 代表指名に関するリエゾン文書
65	Chairman, SG 1	Results of the 19th RAG meeting	第 19 回 RAG 会合の結果
66	Benin	Revision of the Recommendation ITU-R SM.1603 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	国家周波数管理の手段としての周波数再分配に関する ITU-R 勧告 SM.1603 の改定案

文書番号	提出元	表題	
67	JCA-AHF	Liaison statement on technical characteristics of wireless aids for hearing impaired people operating in the VHF and UHF frequency range (COM 16-LS 14) [to ITU-R WP 5A and ITU-T SG 16]	ITU-R の WP5A と ITU-T の SG16 に向けた補聴器に関するリエゾン文書
68	Russia	Proposal for working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RES.67] - Studies on the updating and rearrangement of the Radio Regulations in relation to Resolution 67 (WRC-12)	新たな ITU-R レポート SM.[RES.67]起草に向けた作業文書の提案
69	Russia	Working materials towards planned new Report on the implementation of the digital dividend - National experience of Russian Federation towards implementation of the Digital Dividend	デジタル配当(Digital Dividend)に関する新レポートに向けた作業文書
70	WP 5B	Liaison statement to the JCA-AHF (copy for information to ITU-R WPs 1A, 1B, 5A, 5C and 6A, ITU-T FG-AVA, SGs 2 and 16, ITU-D SGs 1 and 2 and ETSI ERM TG 17) - Reply liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	JCA-AHF に向けたリエゾン文書
71	WP 4A	Liaison statement to Working Party 1B - WRC-15 Agenda item 9.1, Issue 9.1.6	WRC-15 議題 9.1(Issue 9.1.6) に関するリエゾン文書
72	Colombia	Presentation of the Spectrum Management Handbook developed by the Administration of Colombia	コロンビア政府によるスペクトル管理ハンドブックのプレゼンテーション
73	Rapp. RG WP 1B rev. ITU H'book on "Nat. Spect..."	Report of the activities of the Rapporteur Group	ラポーター・グループの活動報告書
74	Korea	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management - Chapter 5 (Spectrum Engineering Practices)"	国家周波数管理に関する ITU ハンドブック改定に向けた作業文書 (第 5 章)
75	Korea	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management - Chapter 6 (Spectrum Economics)"	国家周波数管理に関する ITU ハンドブック改定に向けた作業文書 (第 6 章)
76	Korea	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management - Chapter 1 (Spectrum Management Fundamentals) and Annex 1 (Spectrum Management Training)"	国家周波数管理に関する ITU ハンドブック改定に向けた作業文書 (第 1 章と付属文書 1)
77	China	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2012-3 (2010) 'Economic aspects of spectrum management'	スペクトル管理の経済的要素に関する ITU-R レポート SM.2012-3(2010)の暫定修正案
78	China	Draft revision to the content of the preliminary draft new Report ITU-R SM.[RES. 957] on enhancing the international regulatory framework in relation to Resolution 951 (Rev.WRC-07) which may be relevant to studies on WRC-15 Agenda item 9.1.6 - Studies towards review of the definitions of fixed service, fixed station and mobile station	決議 951(WRC07)と関連した国際規制の枠組み強化に関する ITU-R レポート SM.[RES.957]の内容の暫定修正案
79	U.K and Northern Ireland	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	無線データ辞書(RDD)に関する ITU-R 勧告 SM.1413-2 の暫定修正案
80	European Communications Office	EFIS presentation	EFIS によるプレゼンテーション

文書 番号	提出元	表題	
81	Ukraine	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2257 - Spectrum management and monitoring during major events	主要イベントにおける周波数管理と電波監視に関する ITU-R レポート SM.2257 の暫定修正案
82	Canada	Proposed working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WHITE SPACE] - Spectrum management principles and techniques for the use of white spaces by radio systems employing cognitive capabilities	ITU-R レポート SM.[ホワイトスペース]暫定修正案に向けた作業文書
83	Canada	WRC-15 Agenda item 9.2 - Working document on issues for consideration under the Director's Report	WRC-15 議題 9.2 に関連した文書
84	Canada	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management"	国家周波数管理に関する ITU ハンドブックの改定案に向けた作業文書
85	Chairman, SG1	Results of the 20th RAG meeting	第 20 回 RAG 会合の結果
86	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	聴覚障害者のためのワイヤレス通信システムに関する ITU-R 勧告 M.1076 の改定案
87	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1B/42 - 1B/87)	入力文書一覧(1B/42-1B/87)
88	Chairman, SG1	Conclusions from the Joint meeting of Working Parties 1A, 1B AND 1C	WP1A,1B,1C 合同会合のまとめ
89	Chairman, WP 1A	Note from the Chairman of Working Party 1A to the Chairman of Working Party 1C - On Cognitive Radio Systems - Scope of spectrum engineering aspects to be included in a future ITU-R Report	WP1A 議長から WP1C 議長へ向けたコグニティブ無線システムに関するメモ
90	Chairman, WP 1A	Note from the Chairman of Working Party 1A to the Chairman of Working Party 1B on Correspondence Group (CG-WPT) on developing content for possible preliminary draft new Report and Recommendation on WPT	WP1A 議長から WP1B 議長へ向けた CG-WPT に関するメモ
91	Director, BR	Final list of participants - Working Party 1B	WP1B 最終参加者一覧
92	Chairman, WP 1B	Report of the meeting of Working Party 1B	WP1B 会合 議長報告書

出力文書一覧

文書番号	表題		備考 (提出元)
30	Draft liaison statement to the Working Party of the Special Committee - WRC-15 Agenda item 9.2	特別委員会 WP に向けた WRC-15 議題 9.2 に関するリエゾン文書案	WG1B2
31	Working document towards draft CPM text on WRC-15 Agenda item 9.1 Issue 9.1.4 - Resolution 67 (WRC-12) - Updating and rearrangement of the Radio Regulations	WRC-15 議題 9.1(Issue 9.1.4) に関する CPM レポート案に向けた作業文書	WG1B2
32	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RES.67] - Studies on the updating and rearrangement of the Radio Regulations in relation to Resolution 67 (WRC-12)	ITU-R レポート SM.[RES.67] 改定案に向けた作業文書	WG1B2
33	Draft Terms of Reference for the proposed Study Group 1 [Co]-Rapporteur[s] on the review of ITU-R Recommendations in the SM Series for the database on ITU-R Recommendations	ITU-R 勧告データベース作成にあたる SG1 レポートの ToR 案	Chairman SG1
34	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1370 - Design guidelines for developing advanced automated spectrum management systems	周波数管理システムの発展に向けたガイドライン策定に関する ITU-R 勧告 SM.1370 の改定案	WG1B3
35	Working document toward preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2012-3 - Economic aspects of spectrum management	スペクトル管理の経済的要素に関する ITU-R レポート SM.2012-3 の暫定修正案に向けた作業文書	WG1B3
36	Working Document toward preliminary draft revision of Recommendation ITU-R 1603-1- Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	国家周波数管理の手段としての周波数再分配に関する ITU-R 勧告 SM.1603-1 の暫定修正案に向けた超文書	WG1B3
37	Draft liaison statement to Working Parties 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WHITE SPACE]	ホワイトスペースに関する WP5B,5C,5D,6A,7B,7C,7D に向けたリエゾン文書案	WG1B1
38	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WHITE SPACE] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for the use of white spaces by radio systems employing cognitive capabilities	周波数管理指針とホワイトスペースにおけるコグニティブ無線の運用のための周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R レポート SM.[ホワイトスペース] の暫定修正案に向けた作業文書	WG1B1
39	Proposal regarding the draft modification of Report ITU-R SM.2153-3 - Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range devices	短距離無線機器の技術/運用パラメータと周波数利用に関する ITU-R レポート SM.2153-3 の修正案への提案	WG1B1
40	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RES.957] - Studies relevant to WRC-15 Agenda item 9.1, Issue 9.1.6	ITU-R レポート[RES.957]暫定修正案に向けた作業文書	WG1B2
41	Draft liaison statement to the Working Party of the Special Committee - WRC-15 Agenda item 9.1, Issue 9.1.4 - Updating and rearrangement of the Radio Regulations	特別委員会 WP に向けた WRC-15 議題 9.1(Issue 9.1.4)に関するリエゾン文書案	WG1B2 Chairman
42	Draft liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5C, 5D, 7B, 7C and 7D - WRC-15 Agenda item 9.1, Issue 9.1.6 - Resolution 957 (WRC-12) - Studies towards review of the definitions of fixed service, fixed station and mobile station	WP4A,4C,5A,5C,5D,7B,7C,7D に向けた WRC-15 議題 9.1(Issue 9.1.6)に関するリエゾン文書案	WP5B, WG1B2 Chairman
43	Summary Report of the activities of Working Group 1B1 - Short range devices (SRDs) and related issues	短距離無線機器に関する WG1B1 の活動報告概要	WG1B1
44	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	無線データ辞書(RDD)に関する ITU-R 勧告 SM.1413-2 の暫定修正案に向けた作業文書	WG1B3

文書 番号	表題		備考 (提出元)
45	Draft proposal for a correspondence group to assist the completion of work on the preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Terms of reference	ITU-R レポート SM.1413-2 の改定案に関する CG の提案書	WG1B3
46	Working document towards a PDN Report on digital dividend issues	デジタル配当問題 (Digital Dividend Issues) に関する PDN レポートに向けた作業文書	WG1B3
47	Terms of Reference for the Rapporteur Group on the revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management	国家周波数に関する ITU ハンドブックの改定に関するラポーター・グループに向けた ToR	WG1B3
48	Working document toward a preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management"	国家周波数に関する ITU ハンドブック暫定修正案に向けた作業文書	WG1B3
49	Summary Report of the activities of Working Group 1B-3 - Other issues	WG1B3 の活動報告概要	WG1B3
50	Draft liaison statement to the CCV (copy to WP 5A) - Definition and translation of the term "white space"	CCV に向けた「ホワイトスペース」の定義・翻訳に関するリエゾン文書案	WP1B

2013年6月 ITU-R WP1C会合報告書（案）

【会合名称】	ITU-R WP1C 会合 (電波監視に関する作業部会)
【会 期】	2013年6月4日(火)～6月11日(火)
【開催場所】	スイス・ジュネーブ ITU 本部
【概要】	

本会合は、今研究期間における第2回会合である。40ヶ国の主管庁より88名、15の関係機関より28名およびITU事務局より3名が参加した。合計参加人数は、119名であった。日本からの参加者は、中尾氏(総務省)、河野氏、小野氏(NEC)、大木氏(東芝)、鈴木氏(MRI)の5名である。

日本、アメリカ、ドイツ、ウクライナ、中国、韓国、ローデ・シュワルツ社(独)、タレス社(仏)、SG1議長(露)、WP1C議長(独)、各種CG議長等からの寄与文書および他グループからのリエゾン文書を含め合計36件(1C/36～71)の入力文書が審議され、14件の出力文書(1C/TEMP/17～30)が作成された。

会議では、2つのWorking Group (WG)が設置され、各WGに割当てられた事項の審議が行なわれた。各WGにおいて作成された出力文書は、Plenary Meeting(全体会合)にて審議、承認する手続きがとられた。会議の構成及び各WGにおける検討事項は表-1のとおりである。

表-1 WP1Cの会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1C 議長：Mr. Trautmann (ドイツ)
Working Group 1C-1 議長：Mr. Higgins(米国) 検討事項：技術的な課題
Working Group 1C-2 議長：Mr. Al-sawafi (オマーン) 検討事項：一般的な課題

その他、本会合における特記事項を以下に記す。

- ・ 次回の国際宇宙電波監視会合 (ISRMM) については、2013年10月15～17日にキエフで開催する旨が開催国のウクライナより周知された。
- ・ 次回のWP1C会合については、2014年6月12日に開催される次回SG1会合直前の2014年6月3～11日にジュネーブで開催される旨が周知された。

1 Working Group 1C-1:技術的な課題（議長：Mr. Higgins（米国））

入力文書: 1C/36, 1C/37, 1C/39, 1C/40, 1C/43, 1C/49, 1C/53, 1C/54, 1C/55, 1C/56, 1C/57, 1C/58, 1C/59, 1C/60, 1C/61, 1C/62, 1C/64, 1C/65, 1C/66, 1C/68

出力文書: 1C/TEMP/19, 1C/TEMP/20, 1C/TEMP/21, 1C/TEMP/26, 1C/TEMP/27, 1C/TEMP/28, 1C/TEMP/29, 1C/TEMP/30

（1）主要結果

- ◆ 1C/TEMP/19: 勧告 ITU-R SM.1837 の改訂案「電波監視用受信機の3次インターセプトポイント(IP3)レベルの測定に関する試験手順」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/20: 勧告 ITU-R SM.1537 に対する改訂の事前案「電波監視システムの自動化と自動周波数管理への統合」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/21: 勧告 ITU-R SM.575-1 に対する改訂の事前案「固定監視局の干渉からの保護」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/26: WP6A へのリエゾン文書 勧告文書 ITU-R SM.1875 「DVB-T カバレッジ測定及び計画基準値の検証」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/27: 新報告案 ITU-R SM.[RADIO_VISUALIZING] 「電波監視のための電波発射源可視化技術」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/28: 新勧告草案 ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION] 「電波監視の発展」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/29: 作業文書「DVB-T 単一周波数ネットワークにおける送信機の識別」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/30: 勧告 ITU-R SM.1875 の添付文書2のエディトリアルな改訂案「DVB-T カバレッジ測定及び計画基準値の検証」を作成した。

（2）審議概要

〈SG1 に対する注意喚起が必要な研究課題 ITU-R 230-2/3 「電力線通信システムに適用可能な予測方法・モデル」〉

- ・ 1C/37 (WP1A): 研究課題 ITU-R 230/3 について、WP 1A から WP3L へのリエゾン文書で (WP1C にも参考送付)、WP 1A のコメントを取りまとめたものである。当該研究課題に関する研究では互いに協力しあうとともに、研究内容において重複が無いようにしたいとしている。概要の周知のみで特に議論はなかった（出力文書もなし）。
- ・ 1C/40 (WP3L): 上記のリエゾン文書 (1C/37=3L/24) に対する返信で、WP3L から WP1A へのリエゾン文書 (WP1C にも参考送付) である。規模の大きい研究課題 ITU-R 230/3 の実施には、他の WP の支援が必要であり、部分的に他のグループに任せてもよいが、WP3L は、テーマの範囲に関連性があり、研究課題の全ての側面を研究すべきであると考えているとしている。概要の周知のみで特に議論はなかった（出力文書もなし）。

〈勧告文書 ITU-R SM.1875 「DVB-T カバレッジ測定と計画基準」〉

- ・ 1C/39 (SG1 議長、WP1C 議長): SG1 に寄与文書 1/38 として入力した勧告 ITU-R SM.1875

「DVB-T カバレッジ測定と計画基準の検証」添付資料 1 セクション 2.2 の改訂案について、軽微な編集上の修正を加え、1C/TEMP/30 として出力した。

- ・ 1C/43 (WP 6A) : WP6A より、勧告 ITU-R BT.1735 に関連する報告文書 ITU-R BT.2252 が採択されたが、同文書では、DTTB ネットワークの受信品質評価に関する追加パラメータが定められたこと、WP1C においては、勧告文書 ITU-R SM.1875 の改訂可能性という視点から、上記勧告文書および報告文書の検討をお願いしたい旨の連絡文書があった。これに対応して、上記のとおり本会合で 1C/TEMP/30 を出力したが、その旨 WP6A に回答する連絡文書として 1C/TEMP/26 を出力した。

〈新報告文書の草案作成に向けた作業文書「デジタル信号の技術的識別」〉

- ・ 1C/64 (中国) : デジタル信号の技術的識別に関する CG に対してタレスより提出された新報告文書の草案を補足するもので、内部および外部パラメータを手作業で抽出する方法 (表 3、表 5 に記載) について、基礎理論と処理方法を簡単に説明している。下記 1C/65 を踏まえ、来年に向けて検討を継続することとなった。
- ・ 1C/65 (デジタル信号の技術的識別に関する CG 議長) : 上記のデジタル信号の技術的識別に関する CG での検討状況を報告する文書である。本会期中に DG を結成して 1C/64 の修正作業を行う旨提案されたが、当初は議長の立候補者がいなかったこと等もあり、早急に議論を決着させる必要性は低いとの判断があり、来年まで時間をかけて修正を完了させることとなった。後日、タレスが DG 議長として取りまとめることとなり、概ね以下の構成で作成することで関係者の合意を得た :

1 章 スコープ

- 勧告文書及び報告文書の目的を記載し、それらが互いにどのように関連するのかを明示する。
- 本件に関する全般的な特性を記載する (詳細については、今後ブラッシュアップされるため)。

2 章 イントロダクション

- 本報告文書は、勧告文書に対して追加的な一般情報を提供するものである (必要に応じて、勧告文書を参照する。また、重複が発生しないようにする)。

3 章 定義

- 勧告文書と同一の定義の他、リスト形式で追加の定義を列挙する。

4 章 識別が適用される場合の一般的な運用ケース

- ケース (たとえば、先験的知識がある場合や部分的に先験的知識がある場合など) について、一般的なプロセスを記載する。
- 各ケースに必要な異なる手法について説明する。
- 必要に応じて、SM.1600 を参照する。

【挿入される事項】

- 信号識別を行う際の全般的な処理における適切な順序及び受信条件
- 電波監視システムによる識別を行う際の仕様な受信条件、処理アプローチ及び信号

に関する統合的な表

- 繰返し処理の記載（アルジェリアからの提案）
- 信号の認識及び識別の処理カテゴリー
 - ーケース 1：先行的に計測信号に関する知識がある場合
 - ーケース 2：計測信号に関して断片的な知識がある場合
 - ーケース 3：計測信号に関して、全く知識がない場合

5 章 装置やソフトウェアが仕様を満たすために考慮すべき一般的なアーキテクチャ及びパフォーマンス

- 適切なデジタル受信機のアーキテクチャの例
- 一般的な対象信号及びネットワークのサマリーを掲載
- 識別手法の記載
 - ◇ 電波通信用信号の存在
 - IQ 信号のクロス相関等
 - 電波強度密度
 - 自動相関
 - 電波相関分析
 - ◇ PRF 又はバースト長
 - ◇ 搬送波、副搬送波の周波数
 - ◇ 発射帯域幅及びチャネライゼーション
 - ◇ 副搬送波間の周波数距離
 - ◇ 副搬送波又は発信音の数
 - ◇ 同期変調又は非同期変調の変調率（シンボルレート）
 - ◇ ステータスの数（変調タイプ）

6 章 信号及びネットワークにフォーカスしたまとめ

- 信号変調の型に関する記述。
- 複数の電波アクセスプロトコル及びアクセス技術を含む電波アクセスに関する記述。

7 章 識別手法の記述

- 1C/64（中国）の寄与文書の内容を反映する。

8 章 識別手法の選定

- 新しい章
- 各手法の簡単な説明と、長所／短所、限界等についてまとめる。

9 章 ユースケース

- 1C/65 に記載の適用例及びその他の寄与文書を活用する。
- 他の適用例（WCDMA、OFDMA。SC-FDMA 以外）
- 送信波の周波数及びシンボルレートの抽出
- 信号変調の特性
- 必要に応じて、SM.1600 を参照する。

- 1C/66 (Rai Way) の寄与文書は、一つのユースケースになっている。
- ・ 1C/66 (Rai Way) : イタリア Rai Way 社による、各送信機固有の識別標識を SFN に取り入れ、監視活動でその標識を利用して送信機を正確に識別できるかどうかについての実験について取りまとめ、検討対象としたネットワークアーキテクチャーについて解説し、DVB-T 送信信号に識別標識を導入した場合の効果について分析している。また、SFN 受信信号を構成する送信信号の同時識別方法についても紹介している。上記の「デジタル信号の技術的識別」の新報告文書の例示として取り込むことを前提に議論されたが、新報告文書の作成が来年に持ち越されたため、DVB-TSFN における送信機の識別のみ、単独で作業文書が作成され 1C/TEMP/29 として出力した。

〈勧告 ITU-R SM.575-1 に対する改訂草案「固定監視局の干渉からの保護」〉

- ・ 1C/49 (ドイツ) : 現行の勧告文書 ITU-R SM.575-1 では、固定監視局の設置・運用時において干渉分析を行う場合の限度値となる電界強度基準(数値)を示しているのに対し、電波監視局における電界強度の定義、最大許容値の計算方法を示す改訂案が提示された。基本的な修正方針は承認され、会期中「Interference」を「interference from various sources」にする、「constallation」を「combinaiion」にするなどの表現の改訂がなされたほか、数式の単位等の細部の修正がなされ、1C/TEMP/21 を出力した。

〈新勧告 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の草案「DF 精度測定のための試験手順」〉

- ・ 1C/36 (WP1C 議長)、1C/53 (DF 精度に関する CG 議長)、1C/59 (韓国) : DF 精度に関する CG での検討結果を取りまとめた文書(新勧告草案)であり、ローデ・シュワルツの提案(1C/36 添付資料 2)をベースに、アメリカ(1C/53 添付資料 1、2)、タレス(1C/53 添付資料 3)、韓国(1C/53 添付資料 1 セクション 3、オープンサイト部分)からの寄与文書が組み入れられた。1C/53 の修正のための DG (議長は MEDAV) が結成され、会期中の議論の半分程度が、その作業に費やされた(日本も参加した)。各章ごとに、ローデ・シュワルツ、タレス、MEDAV 等のメーカーの他、ドイツ、日本、韓国が中心となって修正案を検討したが、特に新 2.1 章(理想条件におけるシステム精度)、2.2 章(現実的な条件におけるシステム精度)、2.3 章(非理想条件の模擬環境におけるシステム精度)に記載する試験条件(テストサイトの選択、テスト方位角のサンプル数、S/N 条件、積算時間の条件アンテナ配置、敷設条件等)や試験方法について、連日議論を重ねた。試験方法に関する議論では、ローデ・シュワルツが主張する方法(方位角度差 90 度固定の 2 波干渉モデル)とタレスが主張する方法(すべてのパラメータを振って測定し、RMS をとる)が大きく対立したが、日本から、「本勧告の目的を踏まえ、簡易な共通テスト方法を示すことなのか、より正確な精度を得る共通テスト方法を示すことなのかをまず決めるべきである。ローデ・シュワルツ提案のテスト方法を妥当と判断するためには、簡易ながらも意味のあるデータが得られるという検証結果を提案者が示すべきである」との意見を述べ、拙速な勧告化を行わないよう働きかけた。結果的に、WP1C1 議長から、より時間をかけて議論すべきではないかとの発言があり、来年(次回会合)まで議論が持ち越されることとなった。
- ・ 1C/62 (中国) : 1C/36 添付資料 2 「標準的な移動型方向探知システムの DF 精度に関する考慮事

項」への追加を意図した中国からの文書である。車両エンジンや電力供給システムが移動型方向探知システムに及ぼす影響（特に HF 帯）に焦点を当てたもので、試験手順の適用に当たってはこうした側面にもっと注意を払う必要があるとしている。内容説明の後、1C/53 の修正検討において、考慮すべきであるとのアナウンスがなされた。

- ・ 1C/68 (MEDAV) : 1C/53 に対する MEDAV (信号処理、パターン認識などの情報技術を専門とするドイツの中堅企業) からの修正提案で、精度指標として①システム精度(system accuracy) (データシートに追加可能)、②運用精度(operational accuracy) (データシートには追加できない)、③機器精度(instrument accuracy)などを例示し、CG が作成した新勧告草案の添付資料に反映すべきとしている。内容説明の後、1C/53 の修正検討において、考慮すべきであるとのアナウンスがなされた。

〈新勧告 ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION]の草案「電波監視の発展」〉

- ・ 1C/54 (電波監視の発展に関する CG 議長)、1C/60 (韓国) : 1C/17 及び 1C/25 を統合して作成した「電波監視の発展」に関する新勧告草案に向けた作業文書 (1C/36) の改訂案である。会期中に修正作業が行われた。具体的には、p2 について議長から昨年指摘の周波数共用の表現について、再度修正提案があったこと、p7 について章名を修文 (DSP や Network に限定されているため、based on combination of location technologies の表現に変更) などが行われたほか、最終的にドイツ、アメリカ、コロンビア、タレス社により、電波監視システムによる微弱信号 (CDMA や UWB 等) の検知の困難性を示す表現について、ITU Spectrum Handbook 及び現行の電波監視技術を踏まえた修正が行われ、1C/TEMP/28 として出力した。
- ・ 1C/55 (電波監視の発展に関する CG 議長)、1C/61 (韓国) : 「電波監視の発展」に関する新報告文書の事前案に向けた作業文書である。当初、勧告文書として取りまとめることを意図して提出された 3 つの寄与文書 (1C/20、1C/22、1C/28) をベースに、CG に提出された韓国、日本、中国の寄与文書を取り入れたものとなっている。4 章に空の章立てが入っていることについて、更なるドラフト作成への貢献が必要との議長コメントに対し、アメリカが対応する旨の宣言があったが、今会期中では修正がまとまらず、来年に向けて作業が継続されることとなった。

〈勧告文書 ITU-R SM.1837 の改訂案「電波監視用受信機の 3 次インターセプトポイント(IP3)レベルの測定に関する試験手順」〉

- ・ 1C/56 (ローデ・シュワルツ) : 勧告文書 ITU-R SM.1837 『電波監視用受信機の 3 次インターセプトポイント(IP3)レベルの測定に関する試験手順』の改訂を提案するローデ・シュワルツ社からの文書である。添付資料 1 において、受信機のタイプを条件 (条件 1 ~ 3) という形で定義しているが、本寄与文書はその定義部分の説明の追記を提案するもので、どのような受信機がどの条件に該当するのかを、例示することによって補足し、よりわかりやすく表現している。特に議論なく受け入れられ、ITU-R SM.1837 の改訂案として 1C/TEMP/19 が出力された。

〈新報告文書の草案のための作業文書「電波監視における電波発射源可視化技術」〉

- ・ 1C/57 (日本) : 我が国から、電波発射源可視化技術の特徴・原理を紹介するとともに基本性能

の評価結果、実際の電波監視業務への適用例の紹介及び将来の電波監視に向けての応用事例を提示した。オランダから、非常に興味深い技術であるとのコメントがあったほか、議長も賛同し、都市部の高層建築物内や空港周辺などの干渉源特定に使えるとのポジティブなコメントがあった。会期中にページ毎に確認し、軽微な修正後に新報告文書の事前案となったが、最終プレナリで“草案”も取れ、新報告文書案として 1C/TEMP/27 を出力した。

〈勧告文書 ITU-R SM.1537 に対する改訂草案「電波監視システムの自動化と自動周波数管理への統合」〉

- ・ 1C/58（アメリカ）：勧告文書 ITU-R SM.1537 について、技術の進展に伴い、上記システムの一部として新たな機能が追加可能となっていることから、当該勧告文書の見直し・改訂を提案した文書である。図 1 を最新の構成の例に修正するとともに、2.2.4 の最後に TDOA に関する新しいパラグラフを追加、タレスから図 2 の修正案が出された。エディトリアルな修正後、1C/TEMP/20 を出力した。

2 Working Group 1C-2: 一般的な課題（議長: Mr. Alsawafi（オマーン））

入力文書：1C/38, 1C/41, 1C/42, 1C/44, 1C/45, 1C/46, 1C/47, 1C/48, 1C/50, 1C/51, 1C/52, 1C/63, 1C/67, 1C/69, 1C/70, 1C/71

出力文書：1C/TEMP/17, 1C/TEMP/18, 1C/TEMP/23, 1C/TEMP/24, 1C/TEMP/25

（1）主要結果

- ◆ 1C/TEMP/17：報告文書 ITU-R SM.2257 に対する改訂案「主要イベントにおける周波数管理と監視」（Annex6 の追加）を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/18：勧告 ITU-R SM.1051 に対する改訂案「406-406.1 MHz 周波数帯における有害干渉の特定・除去への優先的対応」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/23：ITU-D SG1 及び ITU-T SG 5 へのリエゾン文書「人間の電磁界への曝露」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/24：Annex X に対する WP1C 議長報告 新報告文書の草案『VHF/UHF 周波数帯を対象とした電波監視ネットワークの計画および最適化のための手順』に関するコレスポネンスグループ「取り決め事項（TOR）」を作成した。
- ◆ 1C/TEMP/25：WP4C へのリエゾン文書「勧告文書 ITU-R SM.1051 に対する改訂の事前案」を作成した。

（2）審議概要

〈災害システム、ネットワークの回復・復旧〉

- ・ 1C/41（FG-DR&NRR、議長）：災害救助システム、ネットワークの回復・復旧に関するフォーカスグループ（FG-DR&NRR）が設置されたことが周知された。FG-DR&NRR の設置目的や義務、活動スケジュールが周知された。特に議論はなく、出力文書も作成されなかった。
- ・ 1C/48（ITU-T FG-DR&NRR）：FG-DR&NRR の最近の活動状況が周知された。FG-DR&NRR の設置目的や義務、活動状況が周知された。トルコ、日本、タイなど、深刻な災害に見舞われた国で開催しているとのこと。特に議論はなく、出力文書も作成されなかった。

〈ITU-D 研究課題 23/1 人間の電磁界への曝露に関する戦略および方針〉

- ・ 1C/42（ITU-D SG 1）：ラポータグループ会合の活動状況と、連絡窓口担当者の任命について周知され、ITU-D SG 1、ITU-T SG 5 からのリエゾン文書に対応する返答としての WP1C からのリエゾン文書を本会合で作成することになった。この方針については、特に議論はなかったが、会期中にスペインの大学から提出された、携帯型監視装置を活用した WiFi の電波監視に関するレポートを反映する方針としたい旨、イスラエルから提案があった。イスラエルとしては、電磁界への曝露の問題が最も懸念されるのは、WiFi の利用拡大に伴い家庭で子供たちが危険にさらされるような状況である旨の説明があり、通常の監視では、WiFi の電界強度の測定がなされないことに問題がある、との説明があった。
- ・ 1C/46（ITU-T SG 5）：WP1C と ITU-T SG5 の情報交換の状況について周知された。WP1C 会合

においても連絡文書を作成し、当該分野の作業の進捗状況を連絡してほしいとのことで、上記の 1C/42 への対応と併せて、イスラエルが主体となってこれまでの WP1C での検討状況をまとめ、ITU-D SG1 及び ITU-T SG 5 へのリエゾン文書として 1C/TEMP/23 を出力した。

〈VHF/UHF 周波数帯を対象とした電波監視ネットワークの計画および最適化のための手順〉

- ・ 1C/44 (ロシア) : 電波監視ネットワークの計画および最適化のための手順を詳述する報告文書について提案された。『ITU 電波監視ハンドブック』(2011 年版)のセクション 6.8 を補足する内容となっている。特にハンドブックへの補足該当箇所については、ドイツから、より詳細な情報が必要とのコメントがあり、これについてロシアから口頭での説明があった。以下の 1C/47 への対応と併せて、CG を作って対応することとなった (1C/47 参照)。

〈VHF/UHF 帯電波監視局の計画に関する将来の成果文書に向けた作業資料〉

- ・ 1C/47 (カザフスタン) : 背後に山地を擁するカザフスタン第二の都市アルマトイを対象地域とし、電波監視ネットワーク計画を試行した事例が紹介された。カザフスタンが不在だったため、議長が代理で全体を解説した 1C 議長より「少なくともロシアの入力文書を補足する例示の位置づけであり、文書としては一つにまとめられるべきである」とのコメントがあり、会期中にその DG が結成された。プレナリで 1C/44 と 1C/47 を統合した文書が紹介され、混乱や複雑化を避けるため、大掛かりな修正は避け、重複する箇所に注意しながら作成した、との説明があった。不在のカザフスタンに対しては、ロシアからメールで連絡して、修正案に対する合意を得、1C/TEMP/24 を出力した。今後は本文書について CG を結成し、来年に向けて報告文書化を作成するための活動を開始することとなった。
- ・ 1C/63 (中国) : 電波監視ネットワークのコストを大幅に削減しうる技術的対策を記したもので、電波の到達時間差(TDOA)を利用したシステムを採用するメリットが紹介された。ドイツから、どのような実験機器を使用したのかとの質問があり、特定の中国固有のシステムを使用した旨、説明があった。米国からは、受信カバレッジの図について詳細な解説を求めるとともに、送信機のパワーレベル等において、どこまでが一般的な内容かを明確化する必要があるとのコメントがあった。ドイツから、図に距離の表示がないためイメージが湧かない、昨年議論した TDOA の限界については考慮したのか等のコメントがあったが、アメリカより AOA との組合せにより補完される旨の補足説明があった。まだ、幾つかの論点が残っていることから、今後も引き続き議論を行うことになった。会期中に、ドイツやアメリカとの議論を踏まえて、修正された文書案が中国から紹介された (すでに発行済みである報告文書 ITU-R SM.2211 「TDOA と AOA の比較」を参照することとした) が、今後の進め方として、上記のロシアの CG の中で取り扱うこととなった。ただし、テーマとして電波監視局の計画の中に位置づけるよりは、別のテーマとして独立して取り扱うべきとの意見もあり、明確な方針は定まっていない。

〈406-406.1 MHz 周波数帯における干渉〉

- ・ 1C/51 (アメリカ) : コスパス・サーサット・システムの変更点の反映、406 MHz 帯に関する ITU プログラムや報告文書 ITU-R SM.2258 に言及したりすることを目的として、現行の勧告文書

ITU-R SM.1051 の改訂が提案された。特に、セッション参加者からのコメントはなかったが、より記述を明確化すべき箇所についてはアメリカにて自主的に対応し、会期中に修正した箇所の説明があった。具体的には、スコープ及び LUT の説明が追加され、一部表現の整合を取って修正した後、1C/TEMP/18 として出力した。また、これに関連して ITU-R SM.1051 の改訂の事前案について、WP4C へのリエゾン文書として 1C/TEMP/25 を出力した。

- ・ 1C/38 (SG1) : 報告文書 ITU-R SM.2258『非常用ビーコンによって利用される 406.0 - 406.1 MHz 周波数帯に影響を及ぼす干渉源の検出・位置特定に関する概要』が承認されたことが周知された。特に、議論はなかった。

〈主要イベントにおける周波数管理と監視〉

- ・ 1C/67 (ウクライナ) : 報告文書 SM.2257 への追加を意図した文書であり、欧州サッカー連盟が開催した EURO-2012 (2012 年にウクライナとポーランドで開催) における周波数管理と電波監視に関する事例が紹介された。文意をより明確化するために、エディトリアルな部分を中心にパラグラフごとに修正作業を行った。会期中に報告文書 SM.2257 への反映作業が行われ、1C/TEMP/17 として出力した。

〈無線信号と有線ブロードバンドネットワークおよびケーブルテレビネットワークへの接続機器・ケーブルとの間の干渉〉

- ・ 1C/45 (ITU-T SG 5)、1C/50 (WP6A)、1C/70 (WP5A、WP5B、WP5C)、1C/71 (WP5A、WP5B、WP5C) : いずれも、リエゾン文書であるため、次回の合同プレナリに WP1C としての返答ができるように、会期中に準備をしておくこととなったが、特に出力文書は作成しなかった。

〈第 20 回無線通信アドバイザーグループ(RAG)会合〉

- ・ 1C/69 (ITU-R SG 1 議長) : 5 月 22~25 日にジュネーブで開かれた第 20 回無線通信アドバイザーグループ(RAG)会合の結果要約から、SG1 および傘下の WP に関連する部分を要約したものである。内容の紹介のみで終了した (WP1C から連絡文書を提出する必要性はないと判断)。

表-2 ITU-R SG1 WP1C 寄与文書

	文書番号	題 目	備考
1	1C/36	REPORT OF THE MEETING OF WORKING PARTY 1C (Geneva, 6-13 June 2012)	WP1C 会合の報告 (2012年6月6日～13日、ジュネーブ)
2	1C/37	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 3L (COPY TO WORKING PARTY 1C) QUESTION ITU-R 230-2/3 BROUGHT TO THE ATTENTION OF STUDY GROUP 1	WP3L への連絡文書 (WP1C にも参考送付) SG1 に対する注意喚起が必要な研究課題 ITU-R 230-2/3
3	1C/38	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4C (COPY TO WORKING PARTY 1C) REPORT ITU-R SM.2258	WP4C への連絡文書 (WP1C にも参考送付) 報告文書 ITU-R SM.2258
4	1C/39	EDITORIAL REVISION OF ANNEXES 1 AND 2 TO RECOMMENDATION ITU-R SM.1875 DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	勧告文書 ITU-R SM.1875 『DVB-T カバレッジ測定と計画基準の検証』 添付資料 1 および 2 に対する編集上の改訂
5	1C/40	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 1A (COPY TO WORKING PARTY 1C) QUESTION ITU-R 230-2/3 BROUGHT TO THE ATTENTION OF STUDY GROUP 1	WP1A への連絡文書 (WP1C にも参考送付) SG1 に対する注意喚起が必要な研究課題 ITU-R 230-2/3
6	1C/41	LIAISON STATEMENT - ESTABLISHMENT OF FOCUS GROUP ON DISASTER RELIEF SYSTEMS, NETWORK RESILIENCE AND RECOVERY	連絡文書 - 災害救助システム、ネットワークの回復・復旧に関するフォーカスグループの設置
7	1C/42	LIAISON STATEMENT ON ITU-D QUESTION 23/1	ITU-D 研究課題 23/1 に関する連絡文書
8	1C/43	REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 1C ON RECOMMENDATION ITU-R SM.1875 DVB-T COVERAGE MEASUREMENTS AND VERIFICATION OF PLANNING CRITERIA	勧告文書 ITU-R SM.1875 『DVB-T カバレッジ測定と計画基準の検証』に 関する連絡文書 (返信)

	文書番号	題 目	備考
9	1C/44	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT Procedures for planning and optimization of spectrum-monitoring networks in the VHF/UHF frequency band	新報告文書の事前案に向けた作 業文書 VHF/UHF 周波数帯を対象とした電 波監視ネットワークの計画および 最適化のための手順
10	1C/45	LIAISON STATEMENT STUDY GROUP 5 ACTIVITIES RELATED TO INTERFERENCE BETWEEN RADIO SIGNAL AND DEVICE OR CABLE CONNECTED TO WIRED BROADBAND NETWORKS AND CABLE TELEVISION NETWORKS	連絡文書 無線信号と有線ブロードバンドネ ットワークおよびケーブルテレビ ネットワークへの接続機器・ケーブ ルとの間の干渉に関する SG5 の活 動
11	1C/46	LIAISON STATEMENT WORK UNDER STUDY IN ITU-T Q7/5	連絡文書 研究課題 ITU-T Q7/5 における検討 状況
12	1C/47	WORKING MATERIALS TOWARDS A FUTURE OUTPUT DOCUMENT ON SPECTRUM MONITORING STATION PLANNING PLANNING OF VHF/UHF SPECTRUM MONITORING NETWORKS IN MOUNTAINOUS REGIONS	VHF/UHF 帯電波監視局の計画に関 する今後の成果文書に向けた作業 文書 山岳地帯における VHF/UHF 帯電波 監視ネットワークの計画
13	1C/48	STATUS REPORT OF THE FOCUS GROUP ON DISASTER RELIEF SYSTEMS, NETWORK RESILIENCE AND RECOVERY (FG-DR&NRR)	災害救助システム、ネットワークの 回復・復旧に関するフォーカスグル ープ(FG-DR&NRR)の現状報告
14	1C/49	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R SM.575-1 Protection of fixed monitoring stations against interference	勧告文書 ITU-R SM.575-1 に対する 改訂の事前案 固定監視局の干渉からの保護
15	1C/50	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 5 AND ITU-R WORKING PARTY 1A (COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 5A, 5B AND 5C FOR INFORMATION) COEXISTENCE OF WIRED AND WIRELESS COMMUNICATIONS SYSTEMS	ITU-T SG5 および ITU-R WP1A へ の連絡文書 (ITU-R WP1C、WP5A、WP5B、 WP5C にも参考送付) 有線通信システムと無線通信シス テムの共存

	文書番号	題 目	備考
16	1C/51	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R SM.1051 Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	勧告文書 ITU-R SM.1051 に対する改訂の事前案 406-406.1 MHz 周波数帯における有害干渉の特定・除去への優先的対応
17	1C/52	RESULTS OF THE 19TH RAG MEETING (Geneva, 25 to 27 June 2012)	第 19 回無線通信アドバイザーグループ(RAG)会合の結果 (ジュネーブ、2012 年 6 月 25～27 日)
18	1C/53	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[DF_ACCURACY] Test procedure for measuring DF accuracy	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案 DF 精度測定のための試験手順
19	1C/54	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION] Spectrum Monitoring Evolution	新勧告文書 ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION]の事前案 電波監視の発展
20	1C/55	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION] Spectrum monitoring evolution	新報告文書 ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION]の事前案に向けた作業文書 電波監視の発展
21	1C/56	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R SM.1837	勧告文書 ITU-R SM.1837 の改訂案
22	1C/57	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT SM.[RADIO_VISUALIZING] THE RADIO SOURCE VISUALIZING TECHNOLOGY FOR SPECTRUM MONITORING	新報告文書の事前案 SM.[RADIO_VISUALIZING]のための作業文書 電波監視における電波発射源可視化技術
23	1C/58	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R SM.1537 Automation and integration of spectrum monitoring systems with automated spectrum management	勧告文書 ITU-R SM.1537 に対する改訂の事前案 電波監視システムの自動化と自動周波数管理への統合
24	1C/59	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[DF_ACCURACY] Test procedure for measuring DF accuracy	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案 DF 精度測定のための試験手順
25	1C/60	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[SPECTRUM_MONITORING_EVOLUTION] Spectrum monitoring evolution	新勧告文書 ITU-R SM.[SPECTRUM_MONITORING_EVOLUTION]の事前案 電波監視の発展

	文書番号	題 目	備考
26	1C/61	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT SM.[SPEC_MON_EVOLUTION]	新報告文書 SM.[SPEC_MON_EVOLUTION]の 事前案に向けた作業文書
27	1C/62	COMMENTS ON WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[DF_ACCURACY]	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案に向 けた作業文書へのコメント
28	1C/63	WORKING MATERIALS TOWARDS A FUTURE OUTPUT DOCUMENT ON VHF/UHF SPECTRUM MONITORING STATION PLANNING A NETWORK COST-CUTTING MEASURE IN SPECTRUM MONITORING STATION PLANNING	VHF/UHF 帯電波監視局の計画に関 する将来の成果文書に向けた作業 資料 電波監視局の計画におけるネット ワークコスト削減策
29	1C/64	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT Technical identification of digital signals	新報告文書の事前案に向けた作業 文書 デジタル信号の技術的識別
30	1C/65	REPORT OF THE CORRESPONDENCE GROUP ON TECHNICAL IDENTIFICATION OF DIGITAL SIGNALS	デジタル信号の技術的識別に関す るコレスポネンスグループの報 告
31	1C/66	TRANSMITTERS IDENTIFICATION IN A DVB-T SFN THE ITALIAN EXPERIENCE	DVB-T 単一周波数ネットワークに おける送信機の識別
32	1C/67	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF ITU-R REPORT SM.2257 SPECTRUM MANAGEMENT AND MONITORING DURING MAJOR EVENTS	ITU-R 報告文書 SM.2257 の改訂の 事前案 主要イベントにおける周波数管理 と監視
33	1C/68	PROPOSALS FOR THE PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[DF_ACCURACY]	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案に対 する提案
34	1C/69	RESULTS OF THE 20TH RAG MEETING (Geneva, 22 to 24 May 2013)	第 20 回無線通信アドバイザー グループ(RAG)会合の結果 (ジュネーブ、2013 年 5 月 22～24 日)
35	1C/70	JOINT LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1A AND ITU-T STUDY GROUP 15 (COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 5D AND 6A FOR INFORMATION) COEXISTENCE OF WIRED AND WIRELESS COMMUNICATIONS SYSTEMS – FURTHER DEVELOPMENTS ON RECOMMENDATION ITU-T G.FAST	ITU-R WP1A、ITU-T SG15 への共 同連絡文書 (ITU-R WP1C、WP5D、WP6A にも参考送付) 有線通信システムと無線通信シス テムの共存 – 今後の勧告文書 ITU-T G.FAST の策定

	文書番号	題 目		備考
36	1C/71	JOINT LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1A AND ITU-T STUDY GROUPS 5 & 9 (COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C AND 5D FOR INFORMATION) COEXISTENCE OF WIRED AND WIRELESS COMMUNICATIONS SYSTEMS - REVISION OF RECOMMENDATION ITU-T K.60	ITU-R WP1A、ITU-T SG5 および SG9 への共同連絡文書 (ITU-R WP1C、WP5D にも参考 送付) 有線通信システムと無線通信シス テムの共存 - 勧告文書 ITU-T K.60 の改訂	

2013年6月 ITU-R SG1会合報告書（案）

【会合名称】 ITU-R SG1会合

（周波数管理に関する研究委員会）

【会期】 2013年6月12日（水）

【開催場所】 スイス・ジュネーブ ITU本部

【概要】

本会合は、今研究期間における第2回会合である。36ヶ国の主管庁と14の認められた通信、放送、科学技術、工業団体、地域及び国際機関並びに事務局より計120名が参加した。日本からの参加者は、遠藤氏、中尾氏（総務省）、小川氏（ARIB）、石田氏（クアルコムジャパン）、森氏（ワシントンコア）の7名である。

WP1A、1B及び1Cからの寄書及び他グループからのリエゾン文書等を含め計40件の入力文書が審議され、新勧告案1件、勧告改定案7件が採択・承認された。WP1Cから上程された、ITU-R勧告SM.1051-2（Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz）の改訂案は米国、フランスの間で見解が分かれたことからWP1Cに差し戻され、次回継続審議とされた。なお、RA-12で改定されたITU-R決議1-6に従い、新勧告および勧告改定の承認にあたっては基本的にはほぼすべての文書についてPSAA（Procedure for the Simultaneous Adoption and Approval by correspondence）による採択・承認手続きがとられた¹。本会合におけるその他の主な審議結果は以下のとおり。

- ・ 新研究報告2件（我が国からの提案による研究報告（電波監視における電波発射源可視化技術（WP1C）を含む）、研究報告の改定3件が承認された。
- ・ 我が国から提案の新課題案（275-1000GHz帯における能動業務の技術・運用特性（WP1A））が承認された。
- ・ WRC-15議題の審議を加速させるため、WP1B会合のみ来年1月にコロンビア・ボゴタで開催予定であることが連絡された。次回のSG1ブロック会合は2014年6月（ジュネーブ）に開催予定。

1. 勧告案

WP1Aから提出された2件の勧告改定案、WP1Bから提出された1件の勧告改定案、またWP1Cから提出された4件の勧告改定案および1件の新勧告の合計8件が採択・承認された。

なお、RA-12で採択されたITU-R決議1-6に示されたワーキングメソッドに従い、新勧告および勧告改定の承認にあたっては1件を除きすべてがPSAA（Procedure for the Simultaneous Adoption and Approval by correspondence）による採択・承認手続きがとられ

¹ Working methods for the Study Groups ([Resolution ITU-R 1-6](#)) 参照。ただし、RR に参照により引用されている勧告は対象外とされる。

た²。

1.1 WP1Aからの勧告案

入力文書 Doc.1/71,74

以下の2点の勧告改訂案が議論・質問等なく承認された

文書番号	勧告名	表題	種別
1/71	SM.1541-4	Unwanted emissions in the out-of-band domain	改定
1/74	SM.1879-1	The impact of power line high data rate telecommunication systems on radiocommunication systems below 30 MHz and between 80 and 470 MHz	改定

1.2 WP1Bからの勧告案

入力文書 Doc. 1/67

1/67(ITU-R勧告SM.1370-1 Design guidelines for developing advanced automated spectrum management systems)は昨年の会合でほぼ完成していたが、イスラエル、米国による入力文書を踏まえて改定作業が完了した。

文書番号	勧告名	表題	種別
1/67	SM.1370-1	Design guidelines for developing advanced automated spectrum management systems	改定

1.3 WP1Cからの勧告案

入力文書 Doc. 1/62,63,64,65,75,78,(49³)

WP1Cから提出された6件の勧告案（改定案5件、新勧告1件）が審議された。ITU-R勧告 SM.1051-2（406-406.1 MHzにおける有害な干渉の特定と除去に関する優先的な対応）の改訂案(1/62)は同勧告が1997年から改定されていないことを踏まえ、コスパス・サーサット・システムの変更点の反映やITU-R 報告SM.2258の言及を加えるなどの提案が米国からWP1Cに提出され、WP1Cにおける承認を経て、SG1に入力された経緯がある。しかし、SG1における審議においてフランスが一部の記載に異議があったとしたほか、1件の入力文書をもとに勧告改定作業を1回の審議で完了させることは不適切であると主張した。これを受け米国は、フランスが異議を示す点⁴は今回の米国提案の内容とは直接関係しておらず、次回会合でフランスが個別に改定提案を出すべきと主張した。米国が本会合における承認を強く主張する一方で、本件はWRC-15の議題9.1とも関係しているため他のSGや主管庁からの見解も受け

² 脚注 2 参照。PSAA を適用しなかった文書は以下 WP1C からの勧告案の項参照。

³ 1/49 の内容はすべて 1/78 に含まれるため 1/49 そのものは審議されなかった

⁴ 米国とフランスの間の議論はオフライン審議により実施されたため、フランスが具体的に何に異議を持っているかについては詳細が紹介されなかった

ながら、次回、慎重に審議すべきとドイツ、イギリスがフランスの主張を支持したことから、本会合では承認されず、WP1Cへ差し戻され、次回継続審議とされた。

また、ITU-R勧告SM.575-1（固定監視局の干渉からの保護）の改定案(1/65)は、文書内に記載されているGSMに関する数値（表1）がSignal BandwidthかChannel Spacingかという点においてイスラエル、中国、WP1C議長らの間で合意に至らなかったため、これに関連する図表や記載を削除することで合意された。フランスは次回会合へのキャリアフォワードを主張したが、中国の提案によりPSAAを適用せずに、AAP⁵の手続きをとることで合意され、SG1においては承認された。これらを除く4件の勧告案は特段の議論・質問等なく承認された。

文書番号	勧告名	表題	種別
1/62*	SM.1051-2	Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	改定
1/63	SM.1837	Test procedure for measuring the 3rd order intercept point (IP3) level of radio monitoring receivers	改定
1/64	SM.1537	Automation and integration of spectrum monitoring systems with automated spectrum management	改定
1/65**	SM.575-1	Protection of fixed monitoring stations against interference	改定
1/75	SM.[SPEC_MON_EVOLUTION]	Spectrum monitoring evolution	新
1/78	SM.1875	DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	改定

* WP1Cへ差し戻された ** PSAAではなくAAPを適用することを条件に承認された

2. 勧告の Editorial な修正

入力文書 Doc.1/54,70

WP1Aから入力されたITU-R勧告SM.329（スプリアス領域における不要発射）のEditorialな修正は特段の質問・議論なく承認された。

なお、勧告のEditorial修正は新勧告や勧告改定の承認手順とは異なりSG1会合により採択・承認され、会合終了後すぐに有効とされる。

文書番号	提出元	勧告名	表題
1/54,70	WP1A	SM.329	Unwanted emissions in the spurious domain

⁵ AAP (Alternative Approval Process) では、まず、Correspondence による採択をかけ、2ヶ月の間、コメントを募集する。この期間中にコメントがなければ、さらに2ヶ月の期間で承認手続を実施する。一方、採択に対するコメント募集期間に異議があれば、当該 WP に差し戻し、次回会合で作業を継続することになる。

3. 研究報告⁶

3.1 WP1Aからの研究報告案

入力文書 Doc.1/68,69

以下の2件の文書が特段の質問・議論なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/68	SM.2158-2	Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating below 80 MHz	改定
1/69	SM.[PLT RAD-PSD]	Methodologies to Relate Radiation from PLT Installations to PLT Modem Output	新

3.2 WP1Bからの研究報告案

入力文書 Doc.1/72

以下の1件の文書が特段の質問・議論なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/72	SM.2153-3	Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication devices	改定

3.3 WP1Cからの研究報告案

入力文書 Doc.1/61,77

我が国からの提案である新報告1件と報告改定1件が特段の質問・議論なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/61	SM.2257	Spectrum management and monitoring during major events	改定
1/77	SM.[RADIO_VI SUALIZING]	The radio source visualizing technology for spectrum monitoring	新

4. 新課題及び課題の改訂

4.1 WP1Aから提出された新及び改訂された課題の検討

入力文書 Doc.1/73

我が国から提案のITU-R新課題[THz]/1 (Technical and operational characteristics of the active services operating in the range 275-1000 GHz) については、SGの研究対象は3000GHz以上でもよいと全権委員会で定められたことからどこまでの周波数帯を記載するか

⁶ 研究報告は SG1 会合により採択・承認され、会合終了後すぐに有効とされる

について議論されたが、研究対象を絞り込んでおくことが有用との結論に至り、修正なく承認された。また、本件についてはSG4とSG7で実施される研究との重複を避けることが重要とされ、同グループへのリエゾン文書の発出も検討されたが、最終的には文書内に脚注として記載するのみで十分であるとされた。

文書番号	課題番号	表題	種別
1/73	[THz]/1	Technical and operational characteristics of the active services operating in the range 275-1 000 GHz	新

なお、WP1BおよびWP1Cからは課題に関する提案はなされなかった。

5. 新意見および意見の修正

今会合では特に議論はなかった。

6. 勧告、研究報告、研究課題の削除

今会合では特に議論はなかった。

7. 勧告、報告書、ハンドブック、課題、意見、決議、決定のステイタス

7.1 現状の確認

入力文書 Doc.1/2(Rev.1)

研究完了時期を2012年とする記載が一部にあるが、既に2013年であることを踏まえ、次回RAが開催される2015年に修正され、承認された。

7.2 課題の延長

入力文書 Doc.1/1(Rev.1),2(Rev.1)

上記7.1参照。

7.3 SG1に注意が喚起された勧告および課題

入力文書 Doc.1/47,48

1/47,48 (SG1の注意喚起が必要とされるSG5による勧告2件 (M.1580-4, M.1581-4)) はWP1Aでノートされたため、審議は省略された。

8. 他の SG や国際機関とのリエゾン

8.1 ITU-R

入力文書 Doc.1/50,52,76

1/50(Active Services Operating Above 275GHz), 1/52(ITU-R Study Group Vocabulary Work), 1/76(Broadcasting Terms and Definitions)の3件のリエゾン文書は質問・議論なくノートされた。

8.2 ITU-T

入力文書 Doc.1/53,55

1/53(Status Report of the Focus Grup on Disaster Relief Systems, Network Resillience and Recovery),1/55(Liaison Statement on Nomination of JCA-AHF Representatives)の2件のリエゾン文書はWP1Bにおいて審議され、アクションは不要であるとの結論に至ったことが報告されたことから、質問・議論なくノートされた。

8.3 ITU-D

入力文書 Doc.1/51

1/51(Invitation to participate in and provide input to the work of the Correspondence Group on the Elaboration of a Working Definition of the Term "ICT")については質問・議論なくノートされた。

8.4 CISPRおよびその他の機関

入力文書 Doc.1/59

1/59(CISPR Response to Question ITU-R 210-3/1 Brought to Their Attention)についてはWP1Aで審議されたことが報告された。また、本文書においてCISPRがWPTをISMと位置づけている点も含め本件は、WP1Aで設置されたCGにおいて今後議論される予定であることがSG1議長から連絡された。WPTについては今回、WP1Aにおいて人体曝露などの懸念が議論されたが、それ以外にもWPTの発火の危険など、本件については議論しなければいけないことが山積している点をBBCが指摘し、ノートされた。

9. 次回のSG 会合

来年のSG1ブロック会合は2014年6月3日～11日、SG1会合は6月12日の予定（スイス・ジュネーブ）。ただし、WRC-15議題の審議を加速させる必要があることから、WP1B会合については1年に2回のペースでの開催が決定し、次回会合は2014年1月にコロンビア・ボゴタで開催が検討されている。なお、この際にWP1Aが担当するCATハンドブックのRGも同時開催される可能性がある。

入力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
45	Chairman, SG 1	Final list of Participants	最終参加者一覧
46	Chairman, SG 1	Summary record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1	SG1 会合報告書の概要
47	SG 5	Study Group 5 Recommendation ITU-R M.1580-4 to be brought to the attention of Study Group 1	SG1 に向けた SG5 の ITU-RM 勧告 1580-4 に関する文書
48	SG 5	Study Group 5 Recommendation ITU-R M.1581-4 to be brought to the attention of Study group 1	SG1 に向けた SG5 の ITU-RM 勧告 1581-4 に関する文書
49	Chairmen, SG 1 and WP 1C	Editorial revision of Annexes 1 and 2 to Recommendation ITU-R SM.1875 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	DVB-T のカバレッジ測定と計画基準の検証に関する ITU-R 勧告 SM.1875 の付属 1 と 2 に関する改定案
50	WP 7D	Liaison statement to Study Group 1 (copy to Working Party 1A) - Active services operating above 275 GHz	275GHz以上の周波数帯における業務に関する SG1 に向けたリエゾン文書
51	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 - Invitation to participate in and provide input to the work of the Correspondence Group on the Elaboration of a Working Definition of the Term "ICT"	"ICT"定義に関する CG の活動への参加・入力提供促進に関する ITU-D の SG1 からのリエゾン文書
52	CCV	Liaison statement to ITU-R Study Groups 1, 3, 4, 5, 6 and 7 - ITU-R Study Groups Vocabulary Work	ITU-R SG1,3,4,5,6,7 に向けたリエゾン文書(語彙に関わる作業)
53	ITU-T FG-DR&NRR	Status report of the Focus Group on Disaster Relief Systems, Network Resilience and Recovery (FG-DR&NRR)	災害救済、ネットワーク回復(DR&NRR)フォーカスグループの状況報告
54	Israel (State of)	Recommendation ITU-R SM. 329 - Editorial correction in English version	ITU-R 勧告 SM.329 英語版の訂正
55	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on nomination of JCA-AHF representatives	JCA-AHF 代表指名に関するリエゾン文書
56	Chairman, SG 1	Results of the 19th RAG meeting	第 19 回 RAG 会合の結果
57	Chairman, SG 1	Proposal for work during the June 2013 meeting of Working Party 1B	2013 年 6 月の WP1B 会合中における活動提案
58	Chairman, SG 1	Results of the 20th RAG meeting	第 20 回 RAG 会合の結果
59	Director, BR	CISPR response to Question ITU-R 210-3/1 brought to their attention	ITU-R 研究課題 210-3/1 に関する CISPR の回答
60	BBC	Work of the Correspondence Group on the Digital Dividend - Derivation and implementation of the "Digital Dividend" - a European perspective	デジタル配当(Digital Dividend)に関する CG の活動
61	WP 1C	Modification of Report ITU-R SM.2257 - Spectrum management and monitoring during major events	主要イベントにおける周波数管理と電波監視に関する ITU-R レポート SM.2257 の変更点
62	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051-2 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	406-406.1MHz帯への有害妨害の特定と排除に関する ITU-R 勧告 SM.1051-2 の改定案
63	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1837 - Test procedure for measuring the 3rd order intercept point (IP3) level of radio monitoring receivers	無線監視受信機の IP3 レベル測定テスト手順に関する ITU-R 勧告 SM.1837 の改定案
64	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1537 - Automation and integration of spectrum monitoring systems with automated spectrum management	周波数管理システムの自動化と統合に関する ITU-R 勧告 SM.1537 の改定案

文書番号	提出元	表題	
65	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.575-1 - Protection of fixed monitoring stations against interference	固定監視局の防護に関する ITU-R 勧告 SM.575-1 の改定案
66	WPs 1A, 1B and 1C	Draft terms of reference for the proposed Study Group 1 [CO]-Rapporteur[S] on the review of ITU-R Recommendations in the SM series for the database on ITU-R Recommendations	ITU-R 勧告データベース作成にあたる SG1 レポータの ToR 案
67	WP 1B	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1370-1 - Design guidelines for developing advanced automated spectrum management systems	周波数管理システムの発展に向けたガイドライン策定に関する ITU-R 勧告 SM.1370-1 の改定案
68	WP 1A	Modification of Report ITU-R SM.2158-2 with regard to man-made noise - Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	人口雑音に関する ITU-R レポート SM.2185-2 の修正
69	WP 1A	New Report ITU-R SM.[PLT RAD-PSD] - Methodologies to relate radiation from PLT installations to PLT modem output - New Report ITU-R SM.[PLT RAD-PSD] - Methodologies to Relate Radiation from Power Line Telecommunication Installations to Power Line Telecommunication Modem Output	PLT 設置による PLT モデム出力への放射線放出方法に関する新 ITU-R レポート SM. [PLT RAD-PSD]
70	WP 1A	Editorial modification of Recommendation ITU-R SM.329-12 - Unwanted emissions in the spurious domain	スプリアス領域における不要輻射に関する ITU-R 勧告 SM.329-12 の修正案
71	WP 1A	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.1541-4 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	領域外ドメインにおける不要輻射に関する ITU-R 勧告 SM.1541-4 の修正案
72	WP 1B	Modification of Report ITU-R SM.2153-3 - Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range devices	短距離無線機器の技術/運用パラメータと周波数利用に関する ITU-R レポート SM.2153-3 の修正点
73	WP 1A	Draft new Question ITU-R [THz]/1 - Technical and operational characteristics of the active services operating in the range 275-1 000 GHz	275-1,000GHz帯における技術・運用上の特徴に関する ITU-R 研究課題 [THz]/1 の改定案
74	WP 1A	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.1879-1 - The impact of power line high data rate telecommunication systems on radiocommunication systems below 30 MHz and between 80 and 470 MHz	30MHz以下および 80-470MHz以内の無線通信システムへの電力線高データレート通信の影響に関する ITU-R 勧告 SM.1879-1 の修正案
75	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION] - Spectrum monitoring evolution	電波監視の発展に関する新 ITU-R 勧告 SM.[SPEC_MON_EVOLUTION]
76	CCV	Liaison statement to ITU-R Study Group 6 (copy to ITU-R Study Groups 1, 3, 4, 5, 7 and ITU-T Study Group 11) - Broadcasting terms and definitions	放送用語と定義に関する ITU-R SG6 に向けたリエゾン文書
77	WP 1C	New Report ITU-R SM.[RADIO_VISUALIZING] - The radio source visualizing technology for spectrum monitoring	電波監視における電波源可視化技術に関する新 ITU-R レポート SM.[RADIO_VISUALIZING]
78	WP 1C	Draft modification of Annex 2 to Recommendation ITU-R SM.1875 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	DVB-T のカバレッジ測定と計画基準の検証に関する ITU-R 勧告 SM.1875 の付属 2 の修正案
79	Chairman, WP 1A	Executive Report of the meeting of Working Party 1A	WP1A 会合の議長報告書

文書 番号	提出元	表題	
80	Chairman, WP 1B	Executive Report of the meeting of Working Party 1B	WP1B 会合の議長報告書
81	Chairman, WP 1C	Executive Report to Study Group 1	SG1 の議長報告書
82	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1/46 - 1/82)	入力文書一覧(1/46-1/82)
83	Director, BR	Final list of participants - Study Group 1	SG1 最終参加者一覧
84	Chairman, SG 1	Summary record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1	SG1 会合報告書の概要